

お客様とキタムラをつなぐコミュニケーション情報誌

こども写真館

スタジオ
マリオ

カメラの
キタムラ

www.kitamura.co.jp

フォトライフ 四季

Vol. 58
AUTUMN



四季ギャラリー

My Photo My Life

写真家

三好和義

秋の撮写体は
春に比べて豊かで色鮮やか。
いろいろな表現方法を楽しめるのが魅力

フォトギャラリー キタムラ
オーブン!!



【詩絵】湧き水に濡れた岩肌に、色々な種類の樹から落ちた葉がへばりついていた。漆の詩絵を思い浮かべ、近寄り引いたりしながら構図を決めた。マクロ写真ではわずかなフレーミングの違いが作品の品格を決定する。PLフィルターを使わず、水の反射を生かしている。
■カメラ:ペンタックス645NII レンズ:45-85mm 絞り:f11 シャッタースピード:オート
フィルム:フジクロームベルビア 撮影地:徳島県吉野川 (撮影)三好和義

フォトライフ
四季 Vol.58 AUTUMN
CONTENTS

表紙の写真解説

【録】様々な色彩に満ちあふれた紅葉の風景。まさに日本の色調だ。いろんな樹が生えているためこういう色彩が生まれる。植えられた森にはない魅力だ。PLフィルターをきかせて岩肌を黒くし、白い水の流れをきわだたせた。空のブルーかぶりをおさえるためアンバー色のフィルターをかけているが、デジタルならホワイトバランスで調整するといいい。

■カメラ:リンホフマスターテヒニカ レンズ:ローデンストック300mm 絞り:f22 シャッタースピード:1秒 フィルム:ベルビア PLフィルター 撮影地:秋田県阿仁町安の滝 (撮影)三好和義

次ページ(P2・3)の写真解説

【散る】水に削られた岩肌の質感が、濡れた女性の肌のように写ったが、撮っている時にはこんなになまめかしく写るとは思わなかった。ここではPLフィルターを使わず、空の反射で立体感を表現している。

■カメラ:リンホフマスターテヒニカ レンズ:400mm 絞り:f22 シャッタースピード:6秒 フィルム:プロビア100F 撮影地:福島県北塩原村中津川溪谷 (撮影)三好和義

4 四季ギャラリー
MyPhoto MyLife
写真家 **三好和義**
秋の被写体は
春に比べて豊富で色鮮やか。
いろいろな表現方法を楽しめるのが魅力。

12 キタムラのお客様が推薦
「秋の風景」撮影ポイント

17 フォトワールド十人十色
日本の「水」を撮る。ネイチャーフォトグラファー 松浦和夫

21 フォトギャラリー キタムラ オープン!!
写真愛好家は「観る」「撮る」が楽しめる!!
ギャラリー&名所MAP 他

32 撮影名所を歩く ぶらりわが街
爽快梅雨知らず 道央 石狩地方

36 キタムラ インフォメーション

36 プレゼントが当たる! クロスワードパズル



大口径の魅力を、
あなたのデジタル一眼に。
デジタル専用、ズーム全域「F/2.8」。

大口径レンズならではの明るさと速いシャッタースピードを、軽量・コンパクトなボディに凝縮。26mm~78mm*相当のズーム全域で、「F/2.8」の美しい描写力を実現。デジタル一眼の世界を広げます。

*35mm判換算

new

APS-Cサイズ相当 デジタル一眼レフカメラ専用レンズ

**SP AF17-50mm F/2.8
XR Di II LD Aspherical [IF]**

Model A16 希望小売価格 **55,000円** (税込 **57,750円**) 花形フード付

■ニコンAF-D用/キヤノンAF用:好評発売中
■コニカミノルタAF-D用:近日発売予定

Di II APS-Cサイズ相当デジタル一眼レフカメラ専用レンズ

※35mm判フィルム一眼レフカメラ、撮像素子がAPS-C相当より大きいデジタル一眼レフカメラにはご使用できません。
※仕様、価格、および発売日はお断りなく変更する場合があります。



秋の被写体は 春に比べて豊富で色鮮やか。 いろいろな表現方法を楽しめるのが魅力。

写真家 三好和義



みよし かずよし/1958年、徳島県生まれ。1981年、東海大学文学部広報学科卒業。同年、株式会社楽園を設立。13歳の時に沖縄を訪ねて以来、タヒチ、モルディブ、南極からチベットまで世界各地で「楽園」をテーマに撮影を続けている。高校時代には銀座ニコンサロンで、当時最年少で個展を開く。27歳の時に写真集「RAKUEN」で木村伊兵衛賞を当時最年少で受賞。作品は米ジョージ・イーストマンハウス国際写真博物館に永久保存されている。1995年から1997年まで北マリアナ連邦経済参事官をつとめる。1999年、外務省が作品「日本の世界遺産」540点を買上げ、国際交流基金（THE JAPAN FOUNDATION）により世界各国で巡回展が行われている。1998年から県知事任命により阿波特使として徳島の良さを伝える活動をしている。三好和義公式サイト <http://www.rakuen-co.com>

今年の4月26日から5月7日まで、東京・新宿タカシマヤにてタヒチやハワイ、バリや沖縄など美しい南国のビーチリゾートに焦点を当てた写真展「南国の楽園 ON THE BEACH」が開催され、期間中には約2万7千人という記録的な来場者が訪れました。この写真展を含め、「楽園」をテーマに国内外で撮影を続けてこられた三好先生ですが、日本の秋の自然風景についても数多くの作品を撮られてきました。これまで本誌「フォトライフ四季」では、春号に三好先生にご登場いただきおりましたが、今号では初めて秋号にご登場いただくことになりました。これまではご紹介できなかった三好先生による「秋」の風景写真をお楽しみください。また、秋の被写体ならではの撮影方法についてもお話をお聞きすることができました。

※表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて三好先生の作品です。

秋は山の上からやって来る。夏の終わりから雪が降る冬まで、長い間シャッターチャンスがある。

被写体としての日本の秋の魅力はどのようなことだと思われませんか？

秋の魅力のひとつに澄み切った空気が

感があります。春はもやがかかったような状況が多いのですが、秋の空はすっきりと晴れ渡っています。また、雨の後のしっとりとした感じもきれいなものです。

秋は山の上からやって来ます。そして夏の終わりから雪が降る冬まで、シャッターチャンスがいっぱいあります。

春の桜の時期はすごく短いもの。それに対し秋の紅葉は比較的長く楽しむことができる被写体と言えるでしょう。

ですから、光の取り入れ方とかをうまく計算しながら撮っていくことで、面白い作品ができ上がります。

春の桜と秋の紅葉を撮る上での違いはどのようなものですか？

紅葉は、樹によってさまざまに色が違います。そして紅葉は自然の中に生育しているものが多い。それに対し桜の樹は自然の中ではなく、人工的なスペース中に多くあって、誰か人の手で植えられ、人の手が加わった自然というような気がします。

ところが、紅葉は人が近づけない山肌にあたりするので、自然のままの美しい姿をとらえる面白さがあります。

日本の四季は繊細。その繊細さをいかに表現できるかが写真の評価ポイントになると思います。

三好先生がお気に入りの秋の撮影地はありますか？

近場なら栃木県の日光によく行きます。平地に比べてかなり早く紅葉が来ます。また北海道も早く紅葉が始まります。ただ僕が好きな沖縄には紅葉という現象がありません。また、屋久島には紅葉する樹自体が少ないです。それ以外では京都とか、秋田・青森県境の白神山が好きなところ。樹自体が紅葉するものもとてもきれいだけど、落ち葉なども秋のテーマとしては面白と思います。散った紅葉というのは美しいのですが、散ったすぐ後じゃないとだめなので、タイミングが肝心です。

紅葉で難しいと思うのは、赤い色の



【巡礼】遍路道で見つけた秋の色彩。下を向き、思いつめて歩き続けた道中、こんな風景に出会うと心がなごむ。逆光に輝く紅色は教会のステンドグラスを思わせる。露出を紅葉に合わせ、影になった大師像をまん中に配し、画面をひきしめた。
■カメラ：ペンタックス645NII レンズ：100-300mm 絞り：f22 シャッタースピード：1/2秒 フィルム：プロビア100F 撮影地：愛媛県越智郡玉川町東福寺(四国八十八ヶ所57番)

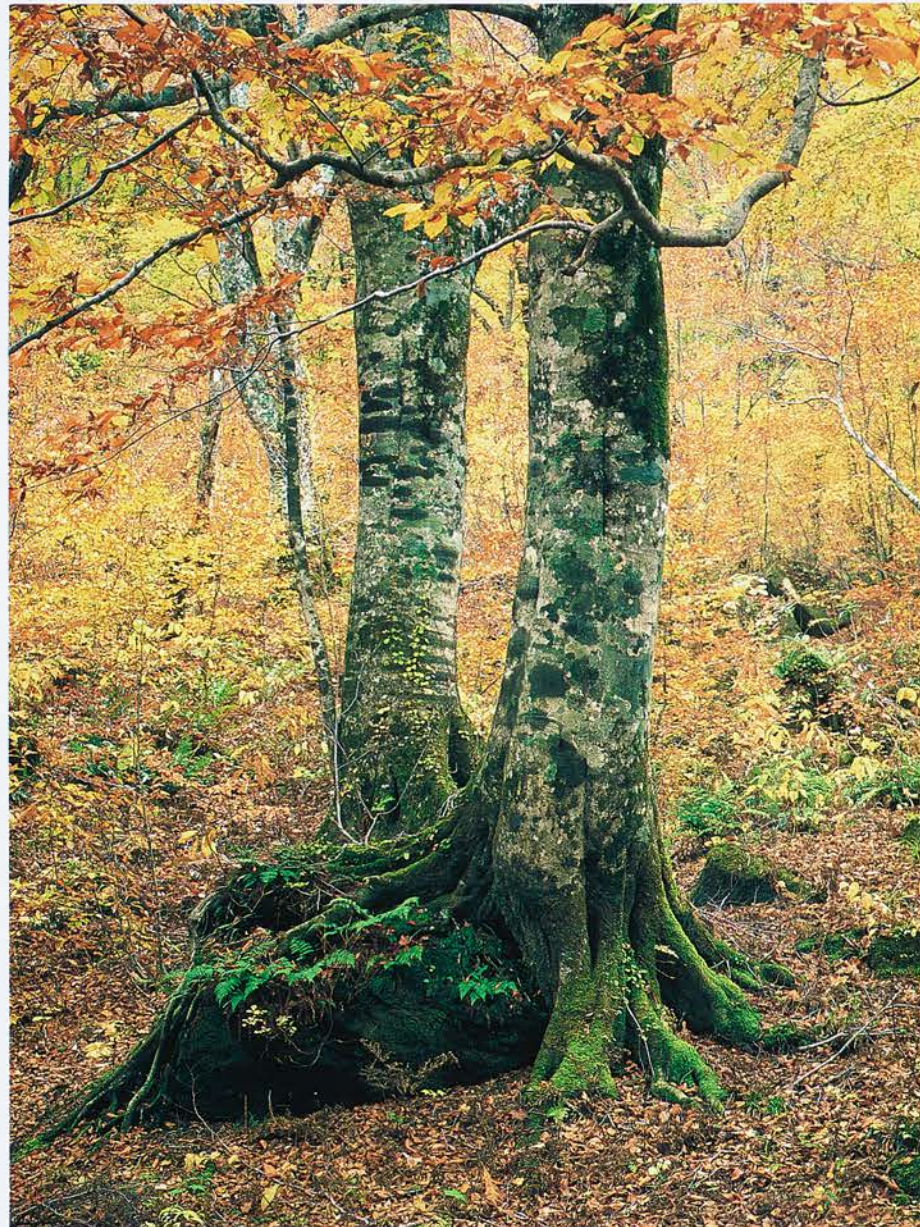
【白神の秋】これも白神山地の一部。秋の澄みきった青空をPLフィルターをきかせて暗く落とした。そうすることで滝の水の白さ、雲が画面を引き締めている。

■カメラ：リンホフマスターテヒニカ レンズ：90mm 絞り：f22 シャッタースピード：1/2秒 フィルム：ベルビア PLフィルター使用 撮影地：青森県西目屋村 第二の滝



確かに他の写真展と比べると多いようです。先日の新宿タカシマヤの時もそうですが、南国リゾートへの憧れはやはり女性、特に若い女性の方が強いようです。男性はもうちよっと僻地であったり、ワイルドなところに魅力を感じるようです。それと今はデジタルカメラが主流になり、写真が誰にでも手軽できれいに撮れるようになりまし

た。できるだけシンプルに、操作も簡単で、なおかつきれいに撮れる。世の中がそのように動いているということ



【ブナの原生林】世界遺産になっている白神山地の紅葉。屋久島に比べると明るい森だ。露出で言うと5段くらいの違いはあるだろうか。ブナの森は新緑もにぎやかで美しいが、紅葉は色とりどりのオレンジ色が楽しい。岳岳は人の少ない自然林だから、ゆっくりと撮れるおすすめポイント。この作品では岩を抱いたブナの老木のどっしりとした感じを撮りたかった。

■カメラ：リンホフマスターテヒニカ レンズ：ローデストック210mm 絞り：f32 シャッタースピード：8秒 フィルム：ベルビア 撮影地：秋田県岳岳

だから若い女性も、いいなと思ったものに素直にカメラを向ける。このことはカメラ付き携帯電話の影響が大きいと思います。少し前まで写真を撮るといふことは、それなりの心構えが必要だったのが、携帯電話で撮った画像をメールで送ったり、プリントしたりして、写真の楽しさ、面白さに気付いた人も多い

ようです。でも、やはりクオリティの高い写真を撮るには、携帯電話では限界があります。それよりももっといいものでちゃんと撮りたい。そこでコンパクトデジカメになり、やがて一眼レフデジカメにステップアップして。手軽に写真を撮るようになって、そこから本格的な写真の世界へ入って来た人も多いのではないのでしょうか。

女性・男性による作品の傾向の差

【まっ赤な朝】逆光に輝く紅葉の美しさ。水に映り込んだこのシーンを撮るために、何度チャレンジしたことか。そして思ったシーンを手に入れた。ハレ切りでうまく光をカットしないと、フードだけではぼやけた写真になってしまう。

■カメラ：リンホフマスターテヒニカ レンズ：90mm 絞り：f22 シャッタースピード：1秒 フィルム：ベルビア PLフィルター使用 撮影地：栃木県日光市中禅寺湖千手ヶ浜



とらえ方だと思えます。桜の淡い白や薄ピンクも難しいのですが、紅葉の赤は鮮やかなためにすぐ飽和してしまいます。だから赤い色の調子をきれいに

先ほども申し上げましたが、秋は春に比べ撮影できる期間が長く、被写体もたくさんあります。春や夏と異なり少しもの悲しげな情緒的な雰囲気。それを題材に俳句を詠むような気持ちで撮影することをお勧めします。日本の四季は繊細です。特に秋は時期が長いので、その繊細な変化をいかに表現できるかが写真の評価につながると思

ころも表現できるといいと思います。日本人は昔から自然を愛でてきて、そこから感じ取ったことを俳句などに表現してきましたが、その感性は現代の写真にも活かせることですか？

です。テクニクだけではなく、撮影者が感じた素直な気持ちがあまく伝わるように。そのためには、自分自身がその風景、そのシーンに感動する必要があると思います。



【長谷寺】古都の落ち着いた雲田気は、曇っている日の方がしっとりとしていて良い。広角より望遠レンズの方が安定感のある構図を作りやすい。絞りをうんと絞って、ピントを全体に合わせた。

■カメラ：リンホフマスターテヒニカ レンズ：210mm 絞り：f32 シャッタースピード：2秒 フィルム：ベルビア 撮影地：奈良県長谷寺

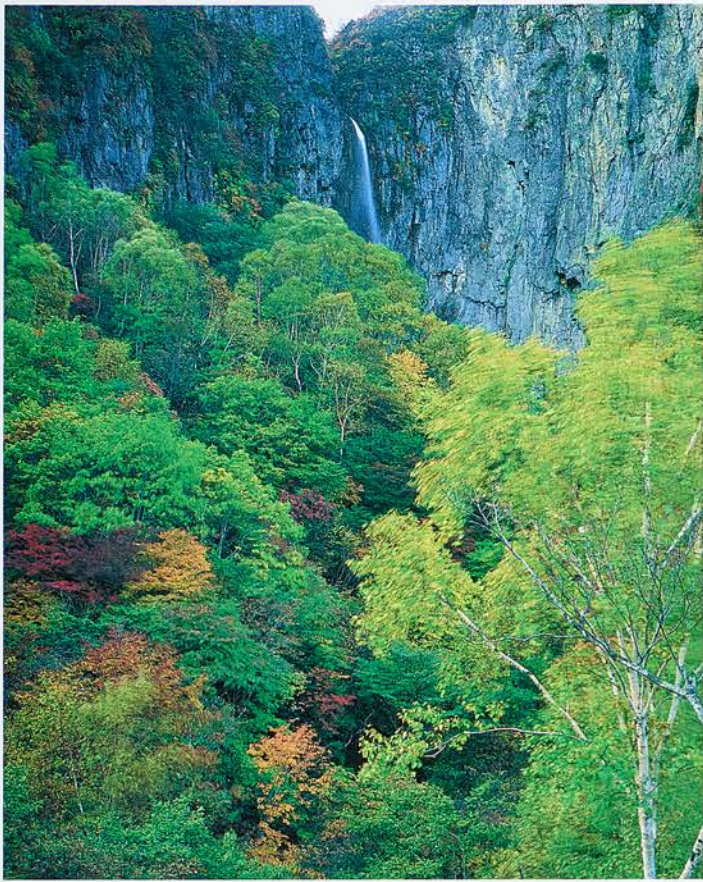
秋の撮影についてアマチュア写真家へのアドバイスをいただけますか？

また、秋は光もきれいなので、その光の美しさ、シャープさ、そういうと

やはり我々日本人は、そのような才能に長けていると思います。日本の景色をどれだけ理解しているか、どれだけ美しいと思っているか、そういう気持ち

先生の写真展には、若い女性の方が多くいらつしゃっていますか？

デジタルの世界をどれだけ面白く、きれいに表現できるかに取り組んでいます。



上／【ひとすじ】滝をアップで撮るよりも、まわりの樹を広く入れることにより、スケール感を出した。望遠でも撮ったが、この写真の方が良かった。また、V字に空をわずかに入れたため、広がり、開放感を感じさせてくれる。V字の白地を指でかくしてみた！
 ■カメラ：リンホフマスターテヒニカ レンズ：135mm 絞り：f22 シャッタースピード：4秒 フィルム：ベルビア 撮影地：長野県須坂市米子大瀑布権現滝

右上／【落日】初めて行った宍道湖で見事な落日に出会った幸運。みるみる沈みゆく太陽を追って、あわてず落ち着いて！と自分に言い聞かせて構図を決めた。太陽が画面にある時は露出が難しい。空の部分をスポットで測って1/2～1段アンダーにする。オートよりマニュアルで撮るといい。また、ブラケットで露出をふるのも忘れずに。
 ■カメラ：リンホフマスターテヒニカ レンズ：400mm 絞り：f16 シャッタースピード：1/15秒 フィルム：プロビア 撮影地：島根県松江市袖師が浦



【吉野川上流】黄色い葉っぱと神秘的な青い水の色コントラストをねらった。落ちたばかりの葉には油分があって表面張力があるのか、きれいに浮かんでいる。ブレないように流れのないうちに浮かべて撮った。水の紋様を写すため、シャッタースピードは速いのを選んだ。
 ■カメラ：ペンタックス645N レンズ：45-85mmZOOM 絞り：f11 シャッタースピード：オート フィルム：プロビア 撮影地：吉野川



【流れる】焼きもの世界にある名作、竜田川の構図を思い浮かべてフレーミングをした。落葉がある岩をメインに、流れとまわりの岩との配置に気をくばって何枚もシャッターを切った。岩の質感を残すよう、PLフィルターは半分だけきかせている。
 ■カメラ：リンホフマスターテヒニカ レンズ：210mm 絞り：f32 シャッタースピード：2秒 フィルム：プロビア PLフィルター使用 撮影地：奥入瀬渓谷

——現在、先生は撮影によってデジタルと銀塩を使い分けられているのですか？

併用していますが、ほとんどデジタルになってきています。特別な理由が無い限りフィルムは使っていません。最近ではデジタルカメラにアオリを付けることなど、デジタルの世界をいかに面白くきれいに表現できるか、いろいろな機材を使ったテストをしながら、その可能性を探っています。

デジタルの特性を理解して撮ることが大切。そして緊張感を持って撮影することも重要。

——初心者はもちろんベテランもカメラといえばデジタルが主流ですが、撮影時の注意点などはございますか？

今まではフィルムとデジタルの比較みたいなことが言われてきましたが、その比較には意味が無ないように思えます。デジタルでも十分きれいに撮れますし、隅々までしっかりと写すことができる。だけど、そのことをちゃんと理解して撮っていない人が多く、ブレていたりピン트가ボケていたりしている写真が目につきます。それが原因で「デジタルってきれいに写らない」と思い込んでいる人もいます。

だから私が審査委員をしているフォトコンテストでも、被写体をよくとらえてはいるが、基本的な設定を間違えていたり、ちょっとブレていたりとか。ます。そして、上達するスピードが早くなっています。撮影で失敗することが少なくなってきたから、撮るのが楽しいですよ。デジタルカメラなら、小さなサイズのモニターであっても、撮影直後に両目で見ることができ。これはすごくいいことです。両目で見れば自分の撮りたいもの、撮りたい世界を自分の的確に確認することもできます。

さらに、カメラやレンズにブレ防止機能が付いていますので、誰でもがよい写真を撮ることも楽しく撮れるようになります。だからといって油断はしやいけません。撮るが、楽しく撮れるということは大事です。

また、デジタルカメラは小さな被写体などでもものすごくきれいに写ります。以前だとマクロレンズを持っていないと撮れなかったものが、今はコンパクトタイプのデジタルカメラでも撮ることができ。ます。

お店の方とのコミュニケーションは大事。上達への早道になります。

——カメラのキタムラについて何かございますか？

デジタルカメラ本体にさまざまな機能が付いているので、撮影に関して言うことはありません。アマチュアの方にとっての問題は撮影した画像のプリントだと感じています。

ちゃんと使えばきれいに写せるのに、残念に思う作品が結構あります。たとえコンパクトデジタルカメラでも4×5のカメラで撮っている意識で注意深く撮れば、4×5で撮ったようにきれいに写るものです。

今までの35ミリフィルムの場合、撮影の小さなミスは粒子の中に埋もれていました。デジタルの場合はついつい気軽に撮ってしまいがちですが、それらが全部でくらくらい、すごくよく写ることを知って、ちゃんと撮る。だから手持ちじゃなくて三脚を使う。絞りもある程度絞って撮る。しかし、絞り過ぎちゃいけないとか、様々なデジタルならではの特性を知って、使いこなすことがこれからは必要です。

デジタル一眼レフカメラを持っていても、コンパクトデジタルカメラからステップアップした人は、プログラムオートだけで撮る。これではダメです。せっかくデジタル一眼レフカメラを持っているのだから、しっかりと三脚を使い、レリーズも使って撮るべきです。ピン트는オートの方がいいと思いますが、色温度の設定、シャッタースピード、絞りなどは、きちんとマニュアルで撮ることを実践していただきたい。

——デジタルカメラの普及で、写真の世界の垣根が低くなったように思えますが？

写真を楽しむ人が増えていると思います。せっかく撮ったきれいな写真でも、専門のお店でプリントに出さないと、クオリティの高い作品はできません。上級者になればRAWで撮って、自分で加工してプリントをするのでしょけれど、普通にJPEGで撮った画像を自分でプリントすると、本来の色が出ずに、違う色に転んだりしてしまいます。ちゃんとカメラのキタムラのようなお店でプリントしてもらって、それを自分の作品づくりのスタンダードにするべきじゃないかと考えます。また、お店の人からアドバイスもらうのも大事なことです。カメラのキタムラは、機材を含めてお客さんに適切なアドバイスができるお店です。写真を楽しむ人がひとりでも増えるようにがんばって欲しいと思います。

——本日はお忙しいところを、ありがとうございました。

三好和義先生も実行委員会メンバーを務める

第28回 日本文化デザイン会議 '06 in とくしま

会期：2006年10月13日(金)～15日(日)
 会場：アスティとくしま 他数ヶ所

撮影会&写真展開催!!

撮影会 2006年10月13日(金)
 ※吉野川を撮影予定

写真展 2006年10月14日(土)・15日(日)

【お問い合わせ先】
 徳島県 県民環境部文化交流局 国民文化祭課内
 「第28回日本文化デザイン会議 '06 in とくしま」実行委員会
 TEL:088-621-2343(直通) FAX:088-621-2819
 http://www.jidf-tokushima.jp/index.html



At the heart of the image

写真家のこころと、エンジニアのまなざしで。

カメラとしてごく当たり前のことを
ひとつひとつ確かめながら、究極まで高めていく。
だからこそ、D200には本物の手応えがある。

「カメラグランプリ2006」

「TIPA ベストエキスパートデジタル一眼レフカメラ2006」

受賞

さらにニコンは、日経ビジネス誌

「2006年版アフターサービス満足度調査」において

デジタルカメラ部門 第1位を2年連続で獲得。

カメラを、写真を知り尽くしているからこそ提供できる

撮る喜びと持つ喜びが、ニコンにはある。



デジタル一眼レフカメラ
有効画素数
10.2 megapixels
D200
価格:オープンプライス



【ニコンカスタマーサポートセンター】0570-02-8000 ニコンフィルムカメラ、デジタルカメラ、スキャナーなどのご購入相談・使い方の
お問い合わせ。営業時間:9:30~18:00(年末年始、夏期休業等を除く毎日) ●携帯電話、PHS等をご使用の場合は、03-5977-7033におかけ
ください。●FAXでのご相談は、03-5977-7499におかけください。●本広告に記載の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

www.nikon-image.com/ 株式会社ニコン・ニコンカメラ販売株式会社
[Nikon Imaging]は、ニコン株式会社の子会社です。

SONY



1020万画素 &
ボディ内蔵手ブレ補正。
だから、全てのαレンズで
ブレずに撮れる。



α: アルファ



α100 デジタル一眼レフカメラ DSLR-A100
新発売

- α100 ボディ(ブラック・シルバー) オープン価格*
- α100 ズームレンズキット(ブラック・シルバー) オープン価格*
キットレンズ:DT18-70mm F3.5-5.6
- α100 Wズームレンズキット(ブラック) オープン価格*
キットレンズ:DT18-70mm F3.5-5.6, 75-300mm F4.5-5.6

*ソニーαレンズ、コニカミノルタ/ミノルタαレンズ(AFマクロ
ズーム3x-1x F1.7-2.8では手ブレ補正効果は得られません)。
なお手ブレ補正効果は撮影環境やレンズにより異なります
※オープン価格商品の価格は販売店にお問い合わせください

αの詳細情報はこちらのサイトまで
www.sony.co.jp/alpha

暮らし、風景、美しさ...

UR賃貸住宅

コオトココテスト

応募期間 (消印有効)

9/16(土)~10/22(日)

「コオトココ」
(1名様) 30万円

特選
(5名様) 15万円

テーマ

UR賃貸住宅のある風景。
「暮らし・風景・美しさ」
あなたの感性を活かして、気軽にご応募ください。

抽選
有効
1000名

抽選
有効
100名

抽選
有効
10名

抽選
有効
1名

抽選
有効
1名

抽選
有効
1名

UR賃貸住宅フォトコンテスト応募要項

東京・千葉・神奈川・埼玉・北海道・宮城・新潟・茨城にあるUR都市機構(旧都市公団)の
対象住宅の「暮らし、風景、美しさ」をあなたの視点で写真に収めご応募ください。
(※掲載されている全ての写真は、昨年度同内容のコンテスト入賞作品の一部となります。)
年齢・職業の制限はありません。

■対象物件など詳しくは

1. 東京・千葉・神奈川・埼玉の各UR営業センターへ
2. ホームページ <http://www.ur-net.go.jp/kanto/>
3. 携帯電話からは (※ご利用の機種、使用条件等によって、読み取れない場合があります。)



■応募方法

作品は平成17年11月以降に撮影したものに限り、サイズはキャビネサイズ以上六寸切り
サイズまで。なお、デジタル写真は前記サイズのプリントをお願いします。ご応募の際には、所
定の応募受付票 (UR都市機構ホームページ<http://www.ur-net.go.jp/kanto/>からダウ
ンロードまたは各UR営業センター等窓口にて配布の応募チラシから切り取り) に必ず1.住所
2.氏名 3.電話番号 4.作品タイトル 5.撮影日時・場所を記入し写真裏面に貼付
けの上お送りください。お申込は1回に限り、応募作品点数はお一人様5点までご応募いた
だけます。注:複数回に分けて申込された場合には、2回目以降の申込につきましては無効とな
ります。ご注意ください。(組写真は不可とし、写真1枚を1点とします) また、郵送時の写真の傷
みにはご注意ください。なお、他のコンテストで入選された作品のご応募はご遠慮ください。

■お問合せ・お申込み

「UR賃貸住宅フォトコンテスト」事務局
TEL:03-6826-3329(事務局) 10時~18時(土日祝休み)
住 所:〒105-8799 東京都港区西新橋3-22-5 芝郵便局留
「UR賃貸住宅フォトコンテスト」係



【主催】独立行政法人都市再生機構 募集販売本部 住宅募集部 【協賛】財団法人住宅管理協会

関東エリア

7 山梨県北杜市瑞牆山

①浅羽東一様 ②山梨県北杜市瑞牆山 ③10月下旬～11月上旬 午後 ④光線の関係で午後が良い。三脚と長めのレンズが必要。⑤中央自動車道須玉IC→県道604号→県道601号→増富ラジウムライン→壱崎増富線→瑞牆山荘→釜瀬林道→瑞牆山。須玉ICから車で1.5～2時間。



6 群馬県草津町白根山

①須藤東二様 ②群馬県草津町白根山湯釜駐車場 ③10月上旬 正午前後 ④9月末～10月初めにはナナカマドの紅葉と霧氷との競演が楽しめる。周囲には撮影ポイント多数。⑤関越自動車道渋川・伊香保ICより国道17号を約10分北上、渋川・鯉沢信号左折、国道145号を西へ約50分、長野原町大津信号にて右折、国道292号を約20分で草津町を通過、白根山方向へ約30分で湯釜駐車場。



北海道エリア

2 北海道 美瑛・富良野

①佐藤秋実子様 ②北海道白金温泉から十勝温泉の間 ③10月上旬 午前9時頃 ④山道でカーブが多い。安全のため道幅の広い場所に駐車。⑤国道237号を美瑛より富良野方面へ。



1 北海道函館市「香雪園」

①岡田重明様 ②北海道函館市見晴町「香雪園」 ③11月中旬 午前7時頃 ④エンリシの撮影は早朝～午前8時頃に限る。⑤函館市電・湯の川線湯の川駅下車、徒歩20分。または函館駅より函館バス14系統・14西系統(五稜郭・湯倉神社経由)で「香雪園」下車、徒歩1分。



キタムラのお客様が推薦

「秋の風景」撮影ポイント

このページはお客様からの「撮影ポイントを教えてください」という声に応じて企画しているページです。掲載されている撮影ポイント及び写真は、「四季のフォトコンテスト2005・秋」に入賞された方々のご協力をいただきました。撮影者の方々からの撮影アドバイスも掲載していますので、参考にしてください。

【説明の番号】

①撮影者 ②撮影場所 ③撮影チャンスと時期 ④撮影アドバイス ⑤交通手段

※撮影時期はその年の気候によって変化します。事前に確認してお出かけください。
※掲載写真は昨年以前に撮影されたものです。現在は景観が変わっている可能性もありますので、ご了承ください。
※他にも素晴らしい作品(ポイント)もありましたが、誌面の都合上割愛させていただきました。

撮影の際はエチケットやマナーをお守りください。

立入禁止区域に立ち入り、草花を倒す、枝を折るなどモラルを欠いた行為は憤むようにしましょう。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけるように注意してください。ゴミなどを持ち帰るなど、自然環境への配慮もお願いします。

甲信越・北陸エリア

9 新潟県十日町市美人林

①相田 保様 ②新潟県十日町市松之山美人林 ③11月 ④ブナ特有の紋様を出すには、雨の日か、雨上がり直後の撮影がベスト。駐車場には40～50台駐車可能。⑤関越自動車道塩沢石打ICから国道353号を約60分。



8 長野県南佐久郡古谷渓谷

①古沢 修様 ②長野県南佐久郡古谷渓谷 ③10月下旬 ⑤上越自動車道佐久ICより国道141号を約30分、国道299号を左折して石碓方面へ約20分。



東北エリア

5 福島県下郷町観音沼

①清水辰夫様 ②福島県下郷町観音沼 ③10月中旬 ⑤会津鉄道・田島高校前駅下車、タクシーで約30分。



4 山形県鶴岡市朝日村田麦俣

①工藤 純様 ②山形県鶴岡市朝日村田麦俣 ③11月上旬 午後3時頃 ④光線で滝の表情が異なる。午前中は影になり、午後からは光が当たって半逆光から順光へと変化する。⑤東北自動車道村田JCTより山形自動車道経由で国道112号へ。村田JCTより約1時間30分。



3 青森県上北郡葛沼

①工藤嘉正様 ②青森県上北郡十和田湖町葛沼 ③11月上旬 午前6時頃 ④駐車場からの山道は暗いので懐中電灯が必要。赤く染まるのは一瞬なので素早い撮影が要求される。場所取りは早めに。⑤青森市から国道103号、八甲田山経由で葛沼へは車で約1時間30分。



“絵になる”秋のイベント情報

1 十和田湖国境まつり

開催場所:青森県十和田湖畔休屋中央広場
開催時期:9月2日(土)・3日(日)
青森・秋田・岩手3県を代表する「ねぶた」「竿燈」「さんざ踊り」が大集合。
お問い合わせ:十和田湖総合案内所 0176-75-2425

2 飯坂けんか祭り

開催場所:福島県福島市飯坂町 飯坂八幡神社
開催時期:10月6日(金)・7日(土)・8日(日)
日本三大けんか祭りの一つともいわれる。激しく勇壮な男祭り。
お問い合わせ:八幡神社社務所 024-542-2560

3 石岡のおまつり

開催場所:茨城県石岡市内
開催時期:9月16日(土)・17日(日)・18日(月)
300年の伝統と勇士を誇る関東三大祭りの一つで、大獅子・沢山の山車が見物。
お問い合わせ:石岡市観光協会 0299-23-1111

4 八坂神社例大祭

開催場所:東京都日野市日野本町 八坂神社
開催時期:9月16日(土)・17日(日)・18日(月)
17日が本祭りで、関東一ともいわれる総御輿が町内を練り歩きます。
お問い合わせ:八坂神社 042-581-1175

5 文化文政風俗絵巻之行列

開催場所:長野県木曾郡南木曾町
開催時期:11月23日(祝・木)
江戸風俗を再現した祭りで、木曾馬に乗った花嫁など約130名が練り歩きます。
お問い合わせ:妻籠を愛する会 0264-57-3513

6 こきりこ祭り

開催場所:富山県南砺市上梨 白山宮境内
開催時期:9月25日(月)・26日(火)
日本最古の民謡「こきりこ」を、ささらという伝統楽器を鳴らし会場全体で踊ります。
お問い合わせ:五箇山観光協会 0763-66-2468



東日本

7 おまんこ祭

開催場所:愛知県西尾市中畑町 八幡神社
開催時期:10月15日(日)
若者が、疾走する馬のたてがみや首につかまって走る「すり馬」が見所。
お問い合わせ:西尾市観光協会 0563-56-2111

8 時代祭

開催場所:京都府京都市左京区 平安神宮
開催時期:10月22日(日)
京都三大祭りのひとつ。時代風俗行列は18列2000人にのぼり、2kmに達する。
お問い合わせ:平安神宮 075-761-0221

9 西条祭り

開催場所:愛媛県西条市
開催時期:10月7日(土)・8日(日)・14日(土)~17日(火)
日本一と自負する絢爛・豪華な祭り。巨大なだんじり・御輿など見所満載。
お問い合わせ:西条市商工観光課 0897-56-5151

10 玉名大俵まつり

開催場所:熊本県玉名市 高瀬大橋河川敷
開催時期:9月22日(金)・23日(土)
重量800kg、直径2.5mの大俵を18人で転がす、ころがしレース」が圧巻。
お問い合わせ:玉名まつり事務局 0968-73-2222

九州エリア

20 福岡県久留米市巨瀬川

①梁井孝子様 ②福岡県久留米市善通寺町飯田巨瀬川 ③10月下旬 午前6時頃 ④霧が湧き出て朝陽に染まり始める頃、運良く釣り舟(笹舟)に出会った時が絶好のシャッターチャンス。⑤JR久大本線・善通寺駅より善通寺方面へ徒歩約15分。



21 大分県由布市黒岳

①原 宏様 ②大分県由布市庄内町阿蘇野西大原男池黒岳北麓原生林 ③11月上旬 午前10時~午後2時頃 ④雨上がりで薄日が良い。三脚、レリーズが必要。飲料水を忘れないように。⑤九州自動車道鳥栖JCTより大分自動車道に入る。九重ICで下り県道40号を飯田高原方面へ。飯田小学校横の交差点を左折し、やまなみハイウェイ交差点を直進、県道621号を庄内方面へ約20分で男池駐車場。



四国エリア

18 香川県木田郡三木町高仙山、山頂公園

①永峰康則様 ②香川県木田郡三木町高仙山、山頂公園 ③11月中旬 午前6時(日の出)頃 ④日の出前から日の出後1時間が狙い目。フレア対策を十分に。⑤JR予讃線・高松駅より国道193号を南へ約23km、高仙山の標識を左折、県道263号を約5分。



19 愛媛県今治市大島吉海町

①村上三四子様 ②愛媛県今治市大島吉海町、亀老山へ登る途中八合目あたり。③寒い月の満月の頃 夜明け ⑤瀬戸内しまなみ海道の大島南ICから亀老山登山口へは車で約15分。現地への交通手段は車のみ。



中国エリア

16 広島県広島市桜土手

①田中昭三様 ②広島県広島市中区基町「広島中央公園」西側の歩行者専用堤防道路、通称「桜坂」 ③11月中旬~下旬 順光は午前11時~午後2時頃 ④土手沿いの桜並木は10月から紅葉が始まり、落葉は11月中旬となる。⑤JR山陽本線広島駅下車、国道54号沿いに徒歩約15分。



17 山口県光市フィッシングパーク

①阪本守通様 ②山口県光市室積にあるフィッシングパーク ③9月下旬 午前6時頃 ④週末には釣り人でにぎわう。⑤山陽自動車道徳山ICから国道188号を柳井方面へ車で約25分。



西日本



近畿エリア

14 奈良県吉野山奥千本

①中川リ工子様 ②奈良県吉野山奥千本、金峯神社から西行庵までの途中 ③10月下旬~11月上旬 ④雨になるかも、という日に出かけ、ガスが出るまで決めてあきらめないこと。⑤橿原から国道169号で吉野山金峯神社へ。近くの駐車場に車を止め西行庵へ向かう途中、徒歩約10分くらい。



15 岡山県苫田郡岩井滝

①大島敏哉様 ②岡山県苫田郡上郷岩井滝 ③11月中旬 ④裏見のない滝なので、いろいろな方向から撮れる。⑤中国自動車道院省ICから国道179号、482号を経て約40km。



13 兵庫県姫路市網干区渚公園

①網澤正弘様 ②兵庫県姫路市網干区渚公園 ③11月上旬 6:40頃がよい ④1年に何度も霧は出ないので、見逃さないように。海に出る霧は全体が見えなくなる。川から流れてくる霧は面白い写真が撮れる。⑤姫路市から山陽電鉄網干線で網干駅下車、徒歩約20分。網干駅から車で約5~6分。



12 三重県いなべ市東員町

①山崎明教様 ②三重県いなべ市東員町 ③10月中旬~下旬 午前7時頃 ④休耕田を利用した約400万本のコスモス。風が強く吹くことがあるので三脚が必要。農道への駐車は禁止。⑤JR関西線・近鉄名古屋線桑名駅で三岐鉄道北勢線にのりかえ約25分で東員駅。下車してすぐ駅前。



東海エリア

10 岐阜県大野郡白水滝

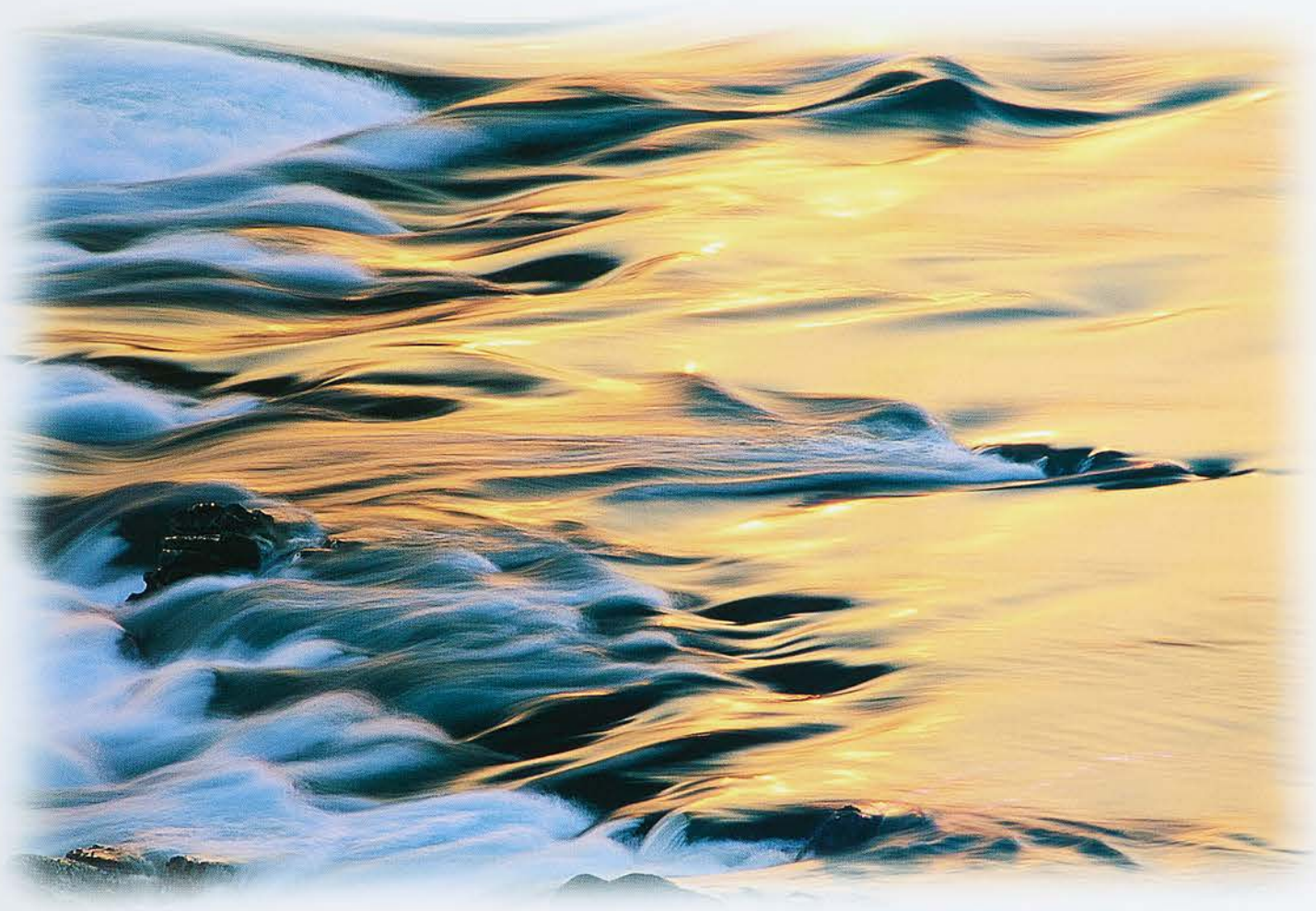
①澤木 仁様 ②岐阜県大野郡白川村大白山高原白水滝 ③10月下旬 午前9時頃 ④ダムでの放流は10月31日で終了。以降はダムの水量調整になるので、滝の水量は不明。⑤東海北陸自動車道荘川ICより国道158号を白川郷方面へ、国道156に入り平瀬温泉から大白山ダムへ向かう。ダム手前に標識あり。駐車場から徒歩約5分。



11 静岡県静岡市清水区吉原

①大石ます代様 ②静岡県静岡市清水区吉原 ③10月中旬 朝日が出る頃 ④1年を通して雨上がりの後、雲海が出ます。⑤東名高速道清水ICより国道1号を東へ約2分で庵原(いばら)町より杉山を通り、第二東名をくぐり吉原へ入る。民家を左右に道なりに進む。右折し少し進むとカーブミラーがあるのでそこを左へ。急な坂道を行くと寺がある。寺を少しだけ通り過ぎたところにある広場が撮影地。茶畑には絶対に入らないこと。





【朝日を浴びて】強い光より、薄曇りの柔らかい光の方が落ち着きがある。
 ■カメラ:キヤノンEOS1New レンズ:EF70-200mm f2.8L 絞り:f22 シャッタースピード:オート +0.7EV
 フィルム:RVP PLフィルター 三脚使用 撮影地:山梨県身延町富士川 11月上旬

大学に入学してから始めた写真。自己流ではありませんが、満足いく写真が撮れていました。もともと美術関係のことが好きだった松浦さん。お兄様が映画好きだったこともあって大学では映画について学ばれていました。「映画は小さな頃からよく観ていましたが、大学で映画について学ぶ目的に関して

大学では映画について勉強。やがて写真に興味を持ち自己流でファッション写真を撮り始めた松浦和夫氏。東京のファッション写真関係の会社に就職も決まっていた。ところが、卒業直前にお父様が他界し故郷の愛媛に帰ることになりました。このことがきっかけになり撮り始めた地元・愛媛の自然。それが松浦氏と自然風景写真の出会い。やがて、数々のコンテストで上位入賞を果たし、故・秋山庄太郎氏が審査委員をされていたコンテストでは「年度賞第1位」を受賞。この受賞をきっかけにプロの写真家の道を歩き始めました。現在は群馬県渋川市に拠点を移し、関東地方をはじめとした東日本を中心に精力的に活動をされています。



ネイチャーフォトグラファー
松浦和夫

はあまり深く考えてはいませんでした。写真を撮り始めたのはその頃です。大学に入るまで写真はやっていなかったのですが、自己流でしたが結構いい写真は撮れていました。当時はファッション写真を撮らせてもらう時もあるけれど、みんなでお金を出し合っただけで撮影することもありました。卒業後は東京でファッション写真関

「水」を撮ることで「日本」を表現。全国の海、川、滝、沼の水辺を歩いた。日本という国は「水の国」であることを思い知った。固定観念にとらわれないこと、これからも日本の水を撮り続けたい。

日本の「水」を撮る。

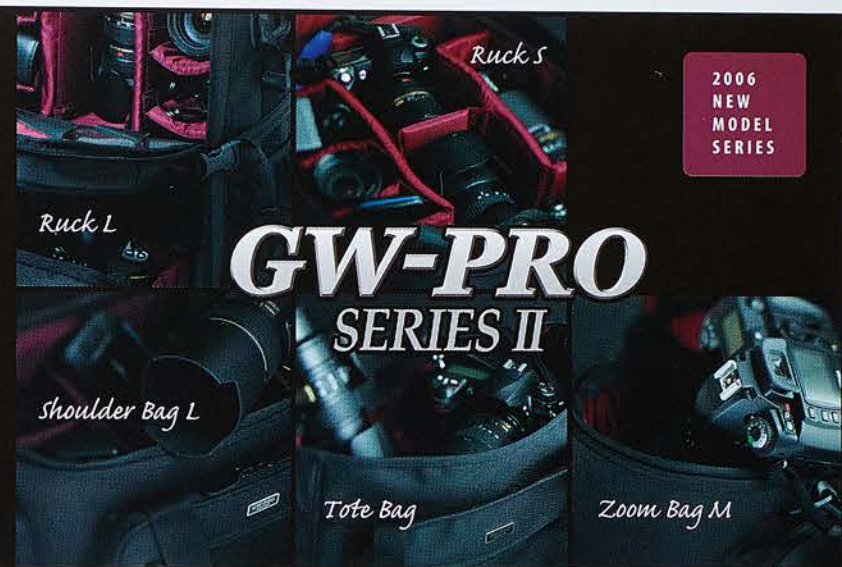
フォトワールド

十人十色

HAKUBA
 PHOTO AUDIO VIDEO ACCESSORIES

フラッグシップを
 継承するもの。

カメラバッグに求めるものを、
 ひとつのカタチにする。
 モノコック構造を目指した、側壁強化構造。
 共に至高の瞬間を得るために。
 GW-PROシリーズ、グレードアップ。



2006
 NEW
 MODEL
 SERIES



GW-PRO series II
 RUCK L
 希望小売価格(税込) ¥38,325



GW-PRO series II
 RUCK S
 希望小売価格(税込) ¥24,150



GW-PRO series II
 SHOULDER BAG L
 希望小売価格(税込) ¥27,300



GW-PRO series II
 TOTE BAG
 希望小売価格(税込) ¥20,475



GW-PRO series II
 ZOOM BAG M
 希望小売価格(税込) ¥13,650

●掲載価格はメーカー希望小売価格です。●商品の色は、印刷インクの性質上、実際の色と多少異なって見えることがあります。
 ●製品改良のため予告なしに仕様およびデザインを変更することがありますのでご了承ください。
 ●ハクバのアクセサリカタログ2006年版を差し上げます。ご希望の方はハクバに住所、氏名、年令、誌名をご記入のうえ本社カタログPLS06係宛にお送りいただくか、下記ホームページよりご請求ください。
 ●ハクバ ホームページ <http://www.hakubaphoto.co.jp>

お問い合わせ先 **ハクバ写真産業株式会社**
 受付センター TEL: 0568(85)0898 FAX: 0568(85)0899

東京本社 東京都墨田区亀沢1-3-7 TEL: 03(362)10898 (代)
 西日本本社 愛知県春日井市大泉寺町438-1 TEL: 0568(85)0898 (代)



PENTAX

手ぶれ補正機構搭載デジタル一眼レフ
K100D 新発売
 オープン価格



瞬間、世界は静止する。



- ぶれに強い、ペンタックス一眼。
- ① ぶれ補正機構「シェイクリダクション」内蔵。全ペンタックスレンズに対応
 - ② 被写体ぶれに強い超高感度3200対応。オート感度設定も装備
 - ③ 広視野角2.5型21万画素の大画面高精細液晶モニター
 - ④ 最適な撮影モードを自動で選ぶ、オートピクチャーモード
 - ⑤ ピントが正確。11点測距の高速・高精度オートフォーカス

ペンタックス株式会社

●製品/カタログダウンロードなど、ペンタックスの
 詳しい情報をお届けするホームページはこちらです。
www.pentax.co.jp/

「K100D キャッシュバックキャンペーン！」
 期間：2006年10月15日まで 詳しくは、ホームページをご覧ください。



右／【秋の滝】夏の水量の多い時と秋の渇水期では、全く違った表情を見せる滝。
 ■カメラ:キヤノンEOS1New レンズ:EF28-70mm f2.8L 絞り:f22 シャッタースピード:オート フィルム:RVP PLフィルター 三脚使用 撮影地:宮城県七ヶ宿町滑川大滝 10月下旬

左／【朝日に輝く干潟】干潟と日の出の時間が重なる日を選んで撮影。
 ■カメラ:キヤノンEOS1New レンズ:EF70-200mm f2.8L 絞り:f16 シャッタースピード:オート +0.7EV フィルム:RVP PLフィルター 三脚使用 撮影地:兵庫県御津町新舞子海岸 12月下旬

【清流と秋色】温泉水が流れているのか、水が青白色をしている。青さを強調するために、早朝撮影。
 ■カメラ:キヤノンEOS1New レンズ:EF28-70mm f2.8L 絞り:f16 シャッタースピード:オート フィルム:RVP PLフィルター 三脚使用 撮影地:岐阜県白川村大白川高原 11月上旬



「落葉の舞」シャッタースピードの選択は、回る落葉を見つめることで決まる。
 ■カメラ:キヤノンEOS1New レンズ:EF70-200mm f2.8L 絞り:f22 シャッタースピード:オート +0.7EV フィルム:RVP PLフィルター 三脚使用 撮影地:長野県佐久町古谷深谷 11月下旬



右／【静寂の湖】水の中に沈んだ倒木と、今が盛りの木々の紅葉との対比。
 ■カメラ:キヤノンEOS1New レンズ:EF17-35mm f2.8L 絞り:f16 シャッタースピード:オート フィルム:RVP PLフィルター 三脚使用 撮影地:北海道足寄町オンネトー湖 10月上旬



【光る波紋】シャッタースピードは、波紋が停止する速度を選択する。
 ■カメラ:キヤノンEOS1New レンズ:EF70-200mm f2.8L 絞り:f8 シャッタースピード:オート +0.7EV フィルム:RVP PLフィルター 三脚使用 撮影地:愛媛県西予市宇和海 9月中旬



【落日の海】12月下旬頃、3つの島の間に太陽が沈む日を選んで撮影。
 ■カメラ:ニコンF3 レンズ:ニッコールED400mm f5.6ED 絞り:f11 シャッタースピード:オート +0.7EV フィルム:RVP 三脚使用 撮影地:愛媛県御荘町三ツ畑地夕景 12月上旬



PROFILE
 まつうら かずお

1952年 愛媛県西予市生まれ。1975年 東京写真大学短大写真応用科(現東京工芸大学)卒業。1984年 愛媛県西予市宇和町に写真のマツウラを開業し、広告・その他撮影に従事。その後しばらくは家庭の事情により撮影を中止。1995年 瀬戸内海、四万十川を中心に再び撮影を開始。現在は群馬県渋川市に移り、日本全国の水辺を歩く。1988年 写真展「四国海景」を開催。2006年 写真展「美しい水」を開催。2006年4月 東方出版株式会社より初の写真集「日本水風景」を出版。

「日本水風景」
 210x220mm、96ページ
 定価2,100円(税込み)

松浦和夫 写真集

〈写真集お問い合わせ先〉
 東方出版株式会社
 TEL.06-6779-9571

〈写真に関するお問い合わせ先〉
 株式会社G.I.P. (ジー・アイ・ピー)
 TEL.03-3478-6555

「単純明快であること」「洗練されていること」「美しいこと」「自由があること」、この4つが私の撮影のスピリット。

現在、松浦さんは群馬県渋川市を拠点に活動されています。この地に決めるにあたっては、松浦さんのお気に入りの撮影地である長野・新潟・福島などへ高速道路を使わずに行けることがポイントでした。

「つい先日にも新潟県と長野県の境にある鍋倉山で、残雪と新緑のコントラストを撮影してきました。私の撮影地は街中ではなく大自然の真只中なので、泊りがけで行く

ました。世界を見ても、このように湿度が高く水が豊かな国は特殊だと思っています。四万十川の源流近くに50歳近くまで暮らしたことで、知らず知らずのうちに「水」を意識していたと語る松浦さん。写真集の「水風景」には「水」と共にさまざまな「光」が写し込まれています。そこには作者としての強い想いがあるように見受けられます。

「水の撮影では「光」を意識しています。私は「光」が大好きなのです。それは私の生まれ育った愛媛県西予市が陽射しの強いところだったから。光が水に反射してキラキラ光るシーンは特に好きですね」。

時でも車の中で寝泊まりします。寝袋ではなくちゃんとした布団を積んでいます。今では車で寝る方が落ち着いてぐっすり眠ることが出来ます。それになんと言ってもお金がかからないし、撮影地に最も近い場所にいられるので、これ以上のものはありません。

今取り組んでいるテーマが「日本の春夏秋冬」、それと「水の国」。これらは初の写真集「日本水風景」の続編になります。さらに「利根川源流」「雪の国・新潟越後」を新たなテーマに掘り続けていく予定です。

「関東平野を取り囲んでいる風景にはすばらしいものがたくさんあります。愛媛県で生まれ育った私から見ると、見過ごされているところもたくさんあり、新鮮な発見の連続です。皆さんも固定観念に縛られず、もっと自由な発想を持てば、オリジナリティ豊かな写真が撮れると思います」。

私の撮影のスピリットは、「単純明快であること」「洗練されていること」「美しいこと」「自由があること」。この4つをいつも撮影の前に考えます。目の前の風景がこの4つに合わないときは撮影しません。

海外にも興味があるけれど、今はまだまだ日本で撮影をして、もっともっと日本を突き詰めてみたいと、その松浦さんの言葉には熱がこもっていました。

「東日本は自然が豊かで優しい表情。それに対し西日本は風景が多少荒っぽい印象があります。東日本は雪が多く降り、西日本は台風の上陸が頻繁にあります。これらが自然に与えた影響が大きいので、私は考えています。話す言葉も東日本はやさしい感じがし、西日本はメリハリがあり強い印象があります。西日本で長く暮らしてきた私が言うのも変ですが、現在は東日本の風景に魅力を感じています。それは現代社会のテーマでもある「優しさ」「癒し」「柔らかさ」のある風景だからだと思っています」。

「水」を撮ることで「日本」を表現。それは日本が「水の国」だからです。

今年の4月に初の写真集「日本水風景」を出版された松浦さん。そこには日本各地で「水」をテーマに撮影した美しい日本の姿が表現されています。

「実は水を撮ることで「日本」を表現しているのです。それは私が日本を「水の国」だと思っているからです。日本という国をどんな切り口で表したらいいのかを考えた時に、「水」で表現するのが一番いいと思います

「母親の看病がありましたので、愛媛から遠くへ行くことはできませんでした。そのためもっぱら地元で撮影をしていました」。

1980年に日本フォトコンテスト誌・カラ1大型の部で、年度賞第1位を受賞した松浦さんは、それまで勤めていた会社を退社して1984年に「写真のマツウラ」を開業。「コンテストの審査員が故・秋山庄太郎先生でした。先生に私の作品を絶賛していただきました。私は嬉しくてすっかりその気になってしまったのです」。

さらに松浦さんはコンテストに応募することに熱中していました。様々なコンテストに自然風景写真で応募して全て入賞。しかし、あることがきっかけとなりコンテストへの応募をやめました。

それは1988年に東京・新宿ニコソラロで「四国海景」という写真展を行っていた時のことでした。

「たまたま竹内敏信先生が来場されて、私に「写真展を開催するということはず

に作家の立場にあるわけだから、これからはもうコンテストに応募してはいけない。もっと作家として活動をしなさい」と言われました。当時はその意味がよくわからなかったのですが、先生の教えに従い、それ以来コンテストへの応募はやめました」。

東日本の自然は優しく女性的表情。それに比べると西日本は男性的に見える。

「東日本は自然が豊かで優しい表情。それに対し西日本は風景が多少荒っぽい印象があります。東日本は雪が多く降り、西日本は台風の上陸が頻繁にあります。これらが自然に与えた影響が大きいので、私は考えています。話す言葉も東日本はやさしい感じがし、西日本はメリハリがあり強い印象があります。西日本で長く暮らしてきた私が言うのも変ですが、現在は東日本の風景に魅力を感じています。それは現代社会のテーマでもある「優しさ」「癒し」「柔らかさ」のある風景だからだと思っています」。

「水」を撮ることで「日本」を表現。それは日本が「水の国」だからです。

今年の4月に初の写真集「日本水風景」を出版された松浦さん。そこには日本各地で「水」をテーマに撮影した美しい日本の姿が表現されています。

「実は水を撮ることで「日本」を表現しているのです。それは私が日本を「水の国」だと思っているからです。日本という国をどんな切り口で表したらいいのかを考えた時に、「水」で表現するのが一番いいと思います

Photo Gallery KITAMURA

OPEN

都内屈指の撮影ポイント「新宿御苑」前に、
写真文化の向上と写真の楽しさを広く体験してもらうことを目的とした、

フォトギャラリー キタムラが、5月18日(木) オープン!!



多数のご来賓をいただき、
盛大にオープニング式典が執り行われました。
またオープン記念写真展として、
「竹内敏信 日本の名瀑より 龍の響」5月18日(木)～5月31日(水)、
「丹地敏明 初夏のかほり」6月1日(木)～6月14日(水)、
「沼田早苗 アメリカ音楽紀行」6月15日(木)～6月28日(水)が開催され、
期間中は数多くのお客様に来場いただきました。



カメラのキタムラのこども写真館
スタジオマリオ



スタジオマリオのアイドル
北村 一葉ちゃん

七五三。
この子の大切なお祝いだから、
いちばんの笑顔を残したい。

七五三
9月の七五三はお得です!!
撮影料3,150円が**無料**です!

期間限定 2006年
9月1日(日)～9月30日(日)まで
対象:今年七五三を迎えられるお子さま
※ご家族様も一緒に撮影できます。

さらに
お得な七五三
撮影特典いっぱい
ご撮影されたお客さまにもれなく
千歳飴プレゼント!
お写真を30,000円以上お買い上げの方に
お買い上げいただいたお写真の中から1枚

**キャラクター
ビッグプリント**
(額付) プレゼント!

© Disney
© Disney's Based on the "Winnie the Pooh" works by A.A.Mine and E.H. Sheppard

お宮参り



百日祝



お誕生祝



入園入学



■当店平常価格

撮影基本料金 1家族何ポーズ撮影されても	3,150円 (税込)
+	
6切写真(高級台紙付)	5,040円 (税込)
4切写真(高級台紙付)	6,090円 (税込)
4切写真(木製額付)	7,140円 (税込)

各種クレジットカードもご利用いただけます。

こども写真館



ウキウキワクワク楽しさいっぱい! スタジオマリオの最新情報、お近くのお店はホームページで

www.studio-mario.com

●撮影は予約制です ● 衣装・撮影のご見学、ご自由にどうぞ!!

www.studio-mario.com/m/

ケータイ
からは
こちらどうぞ

QRコード対応のケータイをご利用の方はこちらからどうぞ



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

フォトギャラリー キタムラ 岡村館長に聞く

写真愛好家の方に、 ご自分の写真を展示する楽しさを 体験してもらいたい。

これまでキタムラは各種フォトコンテストの主催・協賛、情報誌・写真誌の発行、写真教室・撮影ツアーの運営など、写真文化の向上に取り組んできました。ギャラリー一開設にあたり、キタムラだから「こ考えたこと。それは「写真1枚の存在の大きさを再認識できる場をつくりたい。新宿から世界へ！キタムラはデジタルの良さも銀塩の良さも両方を知っている。新しい世代の写真文化を発信していきたい」。オープニングから約2カ月が経ち、フォトギャラリー キタムラの最前線で精力的に活動されている岡村浩館長にお話を伺いました。

「やって良かった」「またやりたい」と思っていたことが大事。

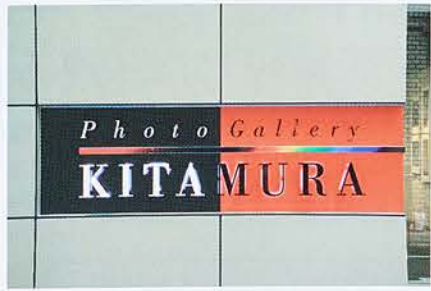
——フォトギャラリー キタムラ開設の目的はどのようなことですか。

写真文化の向上というところと大きくなりますが、写真愛好家の方に写真を展示する楽しさを体験してもらおうことです。確かにアマチュアにとって写真展の開催というと、審査の基準が厳しくて敷居が高いように思われがちですが、当ギャラリーでは「みんなが楽しく写真展を体験できること」を主な目的としています。ご利用いただいた方に「やって良かった」「またやりたい」と思っていたことが大事です。

写真展を開催する際、皆さん最初は遠慮して、恥ずかしがっていることが多

いもの。ところが一度体験してしまえば、その魅力にとりつかれてしまいます。ギャラリーの雰囲気やスポットライトに照らされた自分の作品を見てしまうと、やめられなくなってしまうものです。私どもではこれを「ギャラリーマジック」と呼んでいます(笑)。

今は各地で写真教室の開催が盛んです。そのような写真を学んでいる方の発表の場としても利用していただければと思います。写真を人に見てもらうことは、作者の技術向上にもつながります。人に見られることで、「へたなものを出せない」「いい写真を撮りたい」という意識が出てくるのです。実はこのことは、写真を撮る方だけでなく、プリントをする現場の技術向上にもつながるのです。一生懸命撮られた写真をきれいに仕上げなくてはいけないとい



りと鑑賞していただいています。

アマチュアの方に発表の場を提供し続けることが大きな意義。

——フォトギャラリー キタムラの特徴についてお聞かせください。

まずひとつ目は、スタッフが常駐していることです。通常のギャラリーでは写真展を開催しているご本人や、その関係者が交替で受付にいる場合が多いのですが、ここではそのような手間が省けます。また物販の管理もしていますので、その点も喜ばれています。

最近ではメーカー系のギャラリーが閉鎖されたり、営業時間を短縮するところが出てきています。アマチュア写真愛好家からすると、自分たちの発表の場が少なくなることには危機感を持たれているのではないのでしょうか。そのような中でキタムラが、特にアマチュアを対象としたギャラリーをつくった意義は大きいと思います。また、繰り返しになりますが本



う使命感が生まれます。このように写真展を開催することを通じて、写真を撮る方とプリントをする側の双方にいい相乗効果が出てきます。

こちらでは展示作品のプリントを、キタムラグループのラボネットワークで行なっています。ラボネットワークは二科会指定のラボにもなっていますので、きつとお客様の満足いく仕上がりになると確信しています。

緑豊かな新宿御苑が目の前にあり、 道行く人が気軽に入れる雰囲気自慢。

——オープンから約2ヶ月が過ぎましたが反響はいかがですか。

オープニングから「竹内敏信先生」「丹地敏明先生」「沼田早苗先生」といったにロケーションには恵まれています。目の前に広がる新宿御苑、周辺には飲食店舗が充実しており、ギャラリーを取り巻く環境としてはかなりいいところ

知名度を上げることが重要な使命です。単に場所の提供だけではなく、 いかにしてPRしてゆかが大事。

——年内はすべて予定が埋まっているとお聞きしています。今後の展開についてお聞かせください。

基本はアマチュアの方に利用していただくための施設です。しかし、年間の中で変化をつける必要もありますので、企画展として年間5回ほどプロの写真家の展示も行なっていく予定です。

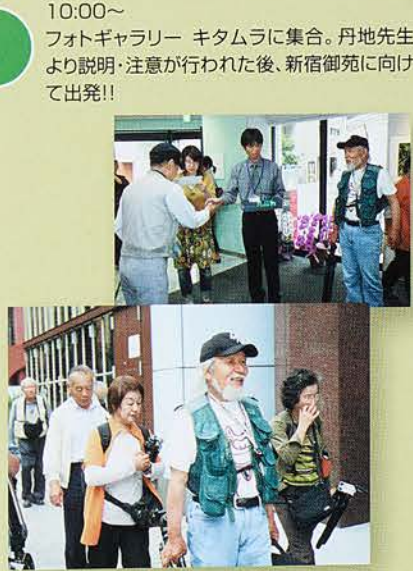
来年の新年早々には竹内敏信先生の「冬のヨーロッパ」を開催します。それ以外では当ギャラリーからも近い場所に事務所を持つ丹地敏明先生による、「新宿御苑の四季」を予定しています。この写真展は当ギャラリーに近い新宿御苑をテーマにしたもので、訪れる皆さまの関心も高いのではないかと期待しています。

このように展示を通して話題性を高めると同時に、私自身があちこちに出向きPRすることも重要な使命だと感じています。これらのことを通じて、少しでも写真愛好家の皆さまの役に立てればと思っております。これからもフォトギャラリー キタムラを宜しくお願いします。

丹地敏明 写真展特別企画

「キタムラ学園 丹地敏明 写真教室」開催!!

オープン記念写真展として開催された「丹地敏明 初夏のかほり」最終日である6月14日(水)に、丹地敏明氏が直接撮影指導および講評をする「キタムラ学園 丹地敏明写真教室」が開催されました。当日は目の前の新宿御苑での撮影会の後、当ギャラリーで講義を行うほか、新宿西口店で即時に現像されたフィルムを元に個別指導が行なわれました。



10:00~

フォトギャラリー キタムラに集合。丹地先生より説明・注意が行われた後、新宿御苑に向けて出発!!



10:30~

初夏の苑内で各自が思い思いに撮影し、丹地氏より適切なアドバイス!!



12:00~

撮影済みフィルムをカメラのキタムラ新宿西口店の協力により90分で現像!!



13:00~

現像したフィルムが到着するまでの間、ギャラリー内で講義!!

14:15~

現像上がったフィルムを見ながら一人ひとり個別にアドバイス!!



4 ゴールデン街

第二次世界大戦後に建てられた木造の店舗がいに並ぶ飲食店街。作家、ジャーナリストが多く集まる街。



1 新宿の夜景

日本有数の繁華街・歌舞伎町方面の夜景。



2 新宿新都心

約半世紀前に始まった新宿副都心計画と再開発事業。今やその超高層ビル群は日本を代表する光景。



3 サザンテラス

全長350mの遊歩道は人気スポット。クリスマスシーズンには美しくライトアップされる。



5 花園神社

内藤新宿の鎮守。江戸時代以前に大和国吉野山より勧請した稲荷社。



6 末広亭

1897年創業。第二次世界大戦により焼失したが、1946年に再建。寄席の伝統を思わせる趣のある造りの建物が現在も健在。



フォトギャラリー キタムラの周りはギャラリー&名所がいっぱい。写真愛好家は「観る」「撮る」が楽しめる!!

東京都庁をはじめ高層ビル群のある西新宿から日本屈指の繁華街がある新宿を抜け、江戸五街道のひとつである甲州街道(現・新宿通り)沿いに四谷まで、ギャラリーと歴史ある名所をピックアップしました。また、歩き疲れた途中に立ち寄れる飲食店も併せて記載しましたので、ギャラリー巡りや撮影にぜひご利用ください。

撮影の際はエチケットやマナーをお守りください。立入禁止区域に立ち入り、草花を倒す、枝を折るなどモラルを欠いた行為は慎むようにしましょう。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけるように注意してください。ゴミなどを持ち帰るなど、自然環境への配慮もお願いします。

15 太宗寺

江戸六地藏のひとつ。宿場である内藤新宿の中にあったことから、多数の参詣者があった。境内は「新宿ミニ博物館」になっている。



14 秋葉神社

消防署の隣には、火防(防火)の神社・秋葉神社がある。



13 荒木町

街の路地に、有数の花街・三業地として大いに栄えた当時のおもかげが残ります。



7 新宿御苑

東京都新宿区と渋谷区に跨る都内有数の庭園。江戸時代には内藤家の屋敷であった。現在は環境省管轄の国民公園として親しまれている。



8 玉川上水水番所跡

江戸時代に玉川上水の水量や水質を管理した水番所のあったところ。



9 西念寺・服部半蔵の墓

西念寺には、伊賀忍者 服部半蔵の墓がある。



10 お岩稲荷田宮神社

「東海道四谷怪談」で有名なお岩まつったお岩稲荷神社の旧地。



11 上智大学前外堀土手

高台にある美しい桜並木。駅から、あるいは電車の窓からも楽しむことができる。



12 四谷見付橋

1913年に、都内四谷駅直上に竣工した上流式鋼製アーチ橋は今も保存されている。



1 クリエイトフォトギャラリー新宿

新宿区西新宿6-12-6 コアロード西新宿1F tel.03-3342-9811 <http://fjit.fujifilm.co.jp/fjit/product/create/products/gallery/> 【営業時間】9:00~19:00(土曜10:00~17:00/最終日9:00~14:00/祝祭日定休)

2a ペンタックスフォーラム

新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F tel.03-3348-2941 <http://www.pentax.co.jp/forum/> 【営業時間】10:30~18:30(最終日10:30~16:00/無休)

2b エプソン イメージングギャラリー エプサイト

新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F tel.03-3345-9881 <http://epsite.epson.co.jp> 【営業時間】10:30~18:30(最終日10:30~16:00/無休)

3 新宿ニコンサロン/ニコンサロンbis21

新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー28F tel. 03-3344-0565 <http://www.nikon-image.com/jpn/activity/salon/> 【営業時間】10:00~19:00(最終日10:00~16:00/無休)

4 コニカミノルタプラザ

新宿区新宿3-26-11 新宿高野ビル4F tel. 03-3225-5001 <http://konicaminolta.jp/about/plaza/> 【営業時間】10:30~19:00(最終日10:30~15:00/無休)

5 café ユイット/gallery ユイット

新宿区新宿3-20-8 トップハウス8F tel.03-3354-6808 【営業時間】13:30~23:30(無休) ※カフェのラストオーダーは23:00まで。ギャラリーの鑑賞のみ可。

6 新宿眼科画廊

新宿区新宿5-18-11 タナカビル102 tel.03-5285-8822 <http://www.gankagarou.com> 【営業時間】12:00~19:30(最終日12:00~17:00/不定休)

7 ガレリアQ

新宿区新宿3-8-9 新宿Qビル4F tel.03-5269-5230 <http://www.galeriaq.com> 【営業時間】12:00~20:00(不定休)

8 free art space Pôrtto LibRe

新宿区新宿2-12-9 広洋舎ビル3F tel. 03-3341-2992 <http://www2.tbb.t-com.ne.jp/porttolibre/> 【営業時間】12:00~20:00(月曜定休)

9 photographers' gallery

新宿区新宿2-16-11-401 tel.03-5368-2631 <http://www.pg-web.net> 【営業時間】12:00~20:00(不定休)

10 community center akta

新宿区新宿2-15-13 第二中江ビル301 tel.03-3226-8998 <http://www.rainbowing.org> 【営業時間】16:00~22:00(第二日曜定休) ※新宿二丁目にあるHIV/AIDSの情報センター&公民館。常設ではありませんがギャラリーの鑑賞のみ可。

11 新宿御苑アートギャラリー

新宿区内藤町11 新宿御苑インフォメーションセンター1F tel. 03-3350-0151 <http://www.shinjukugyoen.go.jp> 【営業時間】9:00~16:00(月曜定休/月曜祝日の場合は翌日休)

12 アイテムフォトギャラリー [シリウス]

東京都新宿区新宿1-4-10-2F tel. 03-3350-1211 <http://www.photo-sirius.net> 【営業時間】10:00~18:00(最終日10:00~15:00/日曜、祝祭日定休)

13 PLACE M

新宿区新宿1-2-11 近代ビル3F tel.03-3358-3974 <http://www.placem.com> 【営業時間】13:00~19:00(無休)

14 LOTUS ROOT GALLERY

新宿区四谷4-22 第二富士川ビル1F tel.03-3341-9341 <http://www.lotusrootgallery.com> 【営業時間】12:00~19:00(月曜定休)

15 Gallery Nièce

新宿区四谷4-10 メイブル花上2F tel.03-3356-8807 <http://niepce-tokyo.com> 【営業時間】13:00~20:00(不定休)

16 Rooney 247 Photography

新宿区四谷4-11 みすずビル1F tel.03-3341-8118 <http://www.rooney.com> 【営業時間】12:00~19:00(最終日12:00~16:00/月曜定休)

17 現代写真研究所ギャラリー

新宿区四谷3-12 沢登ビル5F/6F 写真学校現代写真研究所内 tel.03-3359-7611 <http://www.genken.ac> 【営業時間】13:00~18:00(不定休)

18 ギャラリーちょとく

新宿区荒木町8 アローカメラ3F tel.03-3357-1169 <http://homepage2.nifty.com/arrow-camera/> 【営業時間】9:00~19:00(日曜、祝祭日10:00~17:00/不定休)

19 SIGMALab 四谷フォトギャラリー

新宿区三栄町7 株式会社シグマラボ1F tel. 03-5269-2877 <http://www.sigmalab.co.jp> 【営業時間】10:00~18:00(最終日10:00~15:00/祝日定休)

20 ポートレートギャラリー

新宿区四谷1-7 日本写真会館5F tel.03-3351-3002 <http://www.sha-bunkyo.or.jp> 【営業時間】10:00~18:00(月曜定休/月曜祝日の場合は翌日休)

※上記定休日以外にメンテナンス、年末年始、その他の都合等により特別休業となる場合があります。詳細については各ギャラリーにお問い合わせください。



フォトギャラリー キタムラで初のグループ展を開催!

裏磐梯を中心に日本全国で活動 「くらんぼーん倶楽部」

PENSION くらんぼーん 〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村裏磐梯曾原レークウッドヴィラ
TEL.0241-32-3261 FAX. 0241-32-3403 <http://www.akina.ne.jp/~kuranbon/>

カメラマンとして会社に勤めていたが、家族と一緒に過ごす時間が欲しくて、大決心をしてペンション経営の世界に飛び込みました。裏磐梯でペンション「くらんぼーん」を始めて13年が経ちます。この名前は、私が大好きな宮沢賢治の作品「やまなし」冒頭に出てくる、クラムボンからいただきました。

最初の3年間はペンションの仕事に覚えるのに精一杯でしたが、やがて仕事にも慣れ、まず考えたことは、ペンションに何か個性を持たせたいということでした。私にできることと言えば、写真です。あらためて周りを見てみると、すくなくいい風景があることに気が付きました。そこでペンションをPRしてくれるところに、写真撮影というテーマで特色を出してきたいことを相談したのですが、担当者は首を傾げていました。それが今では、私のペンションに泊まる方の90%以上は写真撮影が目的のお客様です。



PENSION くらんぼーんと、今回お話を伺った「くらんぼーん倶楽部」黒原範雄代表

📷 周りのペンションとの差別化を「写真」で確立。

📷 身近なものを自分の眼で見て、楽しく撮ることを指導。

「くらんぼーん倶楽部」は全国各地に約200名の会員の方がいます。ペンションに泊まつて撮影に行つたことが入会のきっかけになった方がほとんどです。皆さんからの要望もあり、写真塾は定期開催しています。さらに、裏磐梯以外での撮影ツアーも年に1〜2回実施しています。

自分の身近なものを自分の眼で見て撮ること。人の真似ではなく自分の写真を撮ることを心がけるように、そして、楽しく写真を撮るよう指導しています。身近なものといつても、裏磐梯に来て身近なものを撮るといふことではなく、皆さんそれぞれが地元のエリアで撮るのが一番だということ。やはり、自然風景写真を撮るには地元の人有利だと思えます。あまり難しく考えず、自分の気持ちや豊かになつていくようなものの方や、撮影方法をするように提唱しています。

また、先日フォトギャラリー キタムラで写真展を開催された丹地敏明先生とは「裏磐梯フォトフェスティバル」立ち上げ当初から、10年ほどの親交になります。丹地先生には「裏磐梯風景写真学校」の講師としてご参加いただいで、いつも大変お世話になっています。

📷 裏磐梯はコンパクトなエリアの中に自然風景の要素が全て揃っている。「くらんぼーん倶楽部」の写真展は、これまでも年に一回開催してきました。



グループ展に集合された「くらんぼーん倶楽部」の皆さん

フォトギャラリー キタムラの目の前に広がる都会のオアシス新宿御苑。
今年100周年を迎えました。

年間通してさまざまな草花の撮影を楽しむことができる人気の撮影スポットです。

春	夏	秋	冬
ハクモクレン 3月中旬~3月下旬	タイサンボク 5月下旬~7月下旬	ハギ 8月下旬~9月下旬	ビワ 11月下旬~2月中旬
ジンチョウゲ 3月中旬~3月下旬	スイレン 5月中旬~9月中旬	ススキ 9月上旬~10月上旬	ペーバーホワイト 11月下旬~2月上旬
トサミズキ 3月中旬~3月下旬	ナツツバキ 6月上旬~6月下旬	ヒガンバナ 9月下旬	日本スイセン 11月下旬~2月上旬
ラッパズイセン 3月中旬~3月下旬	アジサイ 6月上旬~7月中旬	サルビア・レウカンサ 9月下旬~12月下旬	カンツバキ 11月下旬~1月上旬
ボケ 3月中旬~3月下旬	キョウチクトウ 6月上旬~8月上旬	キンモクセイ 10月中旬	カンザクラ 1月中旬~3月中旬
ソメイヨシノ 3月下旬~4月上旬	ヤエウチナシ 6月下旬~7月中旬		
ゲンペイ・ハナモモ 3月下旬~4月上旬			
ハナニラ 3月下旬~4月中旬			
ウンナンソケイ 3月下旬~4月下旬			
ツツジ 4月上旬~4月下旬			
シデコブシ 4月上旬			
ハナカイドウ 4月上旬~4月中旬			
カリン 4月上旬~4月下旬			
ミツバツツジ 4月上旬~4月中旬			
ヤマブキ 4月上旬~4月中旬			
イロハモミジ 4月上旬~4月下旬			
サトザクラ 4月上旬~4月下旬			
ハンカチノキ 4月上旬~4月下旬	アガパンサス 6月下旬~8月中旬	ギンモクセイ 10月中旬	ウメ 1月中旬~3月中旬
モクレン 4月中旬~4月中旬	ムクゲ 7月下旬~10月上旬	サザンカ 10月中旬~1月中旬	ツバキ 1月下旬~4月中旬
ハナミズキ 4月中旬~5月下旬	アメリカフヨウ 7月下旬~8月上旬	チャノキ 11月上旬~11月中旬	フクジュソウ 2月中旬~3月上旬
シャガ 4月中旬~5月中旬	ミナズキ 7月下旬~8月下旬	ツワブキ 11月中旬~11月下旬	サンシュユ 2月中旬~3月中旬
フジ 4月下旬~5月上旬	サルスベリ 7月下旬~9月下旬		マンサク 2月中旬~3月中旬
オオアマナ 4月下旬~5月上旬	ツルボ 8月中旬~9月中旬		
フジ 4月下旬~5月上旬			
ニセアカシア 4月下旬~5月上旬			
トチノキ 4月下旬~5月中旬			
ベニバナトチノキ 4月下旬~5月中旬			
ヒメユニシダ 4月下旬~5月中旬			
オドリコソウ 4月下旬~5月中旬			
ホオノキ 4月下旬~5月中旬			
カラタネオガタマ 5月上旬~5月中旬			
バラ 5~7月 9~12月			
ブラシノキ 5~6月 8~11月			

※花の開花時期は気象状況により異なりますので、新宿御苑 管理事務所にお問合せいただくか、ホームページをご参照ください。
環境省 新宿御苑 管理事務所 TEL.03-3350-0151 <http://www.shinjukugyoen.go.jp>

「フォトギャラリー キタムラ公募展」作品募集!!

フォトギャラリー キタムラでは、12月の最終週(12月21日(木)~12月28日(木))に公募展の作品展示を行ないます。
公募展とは個展やグループ展を開くことなく、ギャラリーにご自分の作品が展示できるものです。
半切の作品1枚を1万円での出展料で展示いたします。
テーマおよびジャンルは問いません。皆様のご参加をお待ちしていますので、どしどしご応募ください。

詳しくは・・・ TEL.03-3341-7577 <http://www.kitamura.co.jp>

カメラのキタムラ

プロカメラマンと行く 海外撮影の旅

中島登代子先生と行く 秋色の中欧の素朴な生活風景

ルーマニア8日間 6泊8日



Itinerary table for Romania 8 days trip, including dates, locations, and activities.

独自の文化と習慣を持ち、数々の世界遺産を残すヨーロッパ最後の秘境ルーマニア...

大山謙一郎先生と行く ナスタジックマカオとクリスマスイルミネーション香港

香港・マカオ5日間 4泊5日



クリスマスシーズンの香港、マカオはイルミネーションが美しく美しい街へと変身します...

ルーマニア8日間 香港・マカオ5日間 お問い合わせ・お申し込みは 旅行企画実施: 名鉄観光サービス(株)梅田支店

06-6311-2168 (月~金 9~18時) 総合旅行業務取扱管理者: 河谷 瑞生

プロカメラマンと行く (講師未定) ヨーロッパで聖夜を過ごす

ドイツ・アルザス クリスマスツアー8日間 6泊8日



Itinerary table for Germany/Alsace Christmas tour 8 days trip.

ドイツ・アルザス地方はクリスマス発祥の地。お伽の国のような美しい街を撮影していただけます...

山本 学先生と行く 世界遺産巡りとエーゲ海クルーズ

紺碧のエーゲ海クルーズと古代ギリシャ紀行8日間 6泊8日

世界遺産であるアクロポリスの丘、ミケーネの遺跡、デルフィの遺跡、メテオラの4箇所をめぐる撮影していただけます...

ドイツ・アルザス クリスマスツアー8日間 紺碧のエーゲ海クルーズと古代ギリシャ紀行8日間

06-6261-2632 (月~金 9~17時) 担当: 株式会社JTB西日本 大阪中央支店 中井俊介

30000 POINT カメラのキタムラ キット旅行券 6万円分

www.satsueitour-next.com 撮影ツアーHP

フォトギャラリー キタムラ ご利用案内

当ギャラリーは、写真愛好家の皆さまに広くご利用いただき、写真文化の向上と写真の楽しさを、広く体験していただくことを目的とします。

営業時間 平日: 午前10:30~午後6:30 土曜日: 午前11:00~午後5:00 最終日: 午後3:00まで 定休日: 日曜・祭日

- ご利用規約 (出展および展示作品について) 1. 作品のサイズは四切~全紙までとさせていただきます...

料金表: 出展料 (1週間 120,000円), プリント料金表 (サイズ別), リバーサル現像 (90分スピード仕上げより), デジカメプリント (9分スピード仕上げより)

額装代 四切~全紙 1枚 3,000円 (バックシート加工、パネル使用料込み) 上記以外の特寸マットは別途お見積り

フォトギャラリー キタムラでグループ展を開催する写真クラブに特典!! キタムラ店頭で無料配布する季刊誌「フォトライフ四季」と、キタムラが出版するフォトコン専門誌「フォトコンライフ」に掲載します。

カメラのキタムラ 新宿/西口店 撮影が終わったらすぐに見たい!! そんなご要望に「高品質」「高画質」でお応えします!!

フォトギャラリー キタムラ スケジュール (2006年8月31日~12月28日) Table with columns for date, title, group name, etc.

Photo Gallery KITAMURA 東京メトロ丸の内線新宿御苑駅前 大木戸門口より徒歩1分 10:30am-6:30pm

秋は「ここ」撮る

日本の秋・絶景スポット決定版

フォトコンライフ特別号「紅葉撮影地ガイド」

8月31日
発売

撮影地ガイド&マップ
温泉&周辺観光情報つき

フォトコンライフ特別号

写真でめぐる秋の絶景 全国300景

列島の秋景色!



その土地特有の風景をテーマに、作品を紹介。物語を読むように、撮影地がわかります。

名所から温泉情報まで、もみじ狩りにも撮影にも役立つ300カ所



山・滝や渓谷、古都などの風景……。北海道から沖縄まで、全国の写真愛好家が切り取った300カ所もの秋の表情。撮影ガイドや交通アクセス、近場の観光地など、撮影にはもちろん、旅の必須情報を網羅。作品作りのヒントになるだけでなく、もみじ狩りなど観光にも、日本の秋の紅葉写真集としても最適の一冊です。



©竹内敏信 A4変型判・130ページ
価格:1575円(税込)

とっておき日本の絶景 竹内敏信が撮る錦秋

お求めは全国の書店か
カメラのキタムラ店頭で
双葉社刊

歴史を知れば
被写体が見えてくる!

各エリアごとにその土地にまつわる歴史や謎を紹介した「知ってもっとフォト・歴史と謎」、歴史的な風景がまだまだ残されている五街道を紹介した「五街道で巡る、秋の撮影紀行」など、読み応え十分。古の状況に思いをはせながら、シャッターを押しては。



カメラのキタムラ主催「四季のフォトコンテスト秋」の選者・竹内敏信が、おすすめする日本の絶景地を披露しています。

秋を「こう」撮る

「美しい日本の秋色はこう撮る!」

達人が教える「秋光撮影テクニック」

光・色・露出・・・秋の被写体と、撮影テクニックが満載
全作品選評つきでおくるフォトコンテスト専門マガジン
さらに今回はDVD付き!

DVD
付録付

2006年秋号

9月9日
発売

フォトコンライフ

No.27

秋の特大号

フォトコン初のDVD付

竹内敏信フォトライフナビ



今回のフォトコンは秋の特大号として、DVD「竹内敏信のフォトライフナビ〜DVDでわかるフォトコングランプリへの道〜」付き!竹内敏信が語る最近のフォトコンテストの傾向に加え、撮影取材密着ドキュメント、さらに国内外の撮影ツアーや写真イベントのレポート、そしてフォトコンテストの審査の様子を収録。誌面とDVDの両方でお楽しみを!

読んでためになる企画の数々



特集

「秋景七彩テク」

A4変型判・152ページ 価格:1400円(税込) ©原田 寛

竹内敏信 / 「デジタルで撮る日本の秋」

テーマ別フォトコンテスト

鈴木一雄 vs 阿部秀之が選ぶ しあわせな光景

選者ふたりの講評バトル
「被写体や状況によって、フィルムを選択する」鈴木一雄
「人は写真を撮るとき、潜在的にしあわせな光景を求めている」阿部秀之



2005年
秋号より

丹地敏明・深澤武・原田寛など、プロの写真家が語る「日本の秋光撮影テクニック」、デジタルカメラの本物が知りたい!をテーマにした「あの人とデジカメ」、モノクロ写真をふりかえる対談「モノクローム再考」など、読みごたえ抜群!!

2005年秋号より

地元を中心に撮影活動をされている方々に、とっておきの撮影ポイントや名所を紹介していただく「撮影名所を歩く ぶらりわが街」。
今回は北海道札幌市在住のアマチュアカメラマン、滝田康夫さんにご案内いただきました。



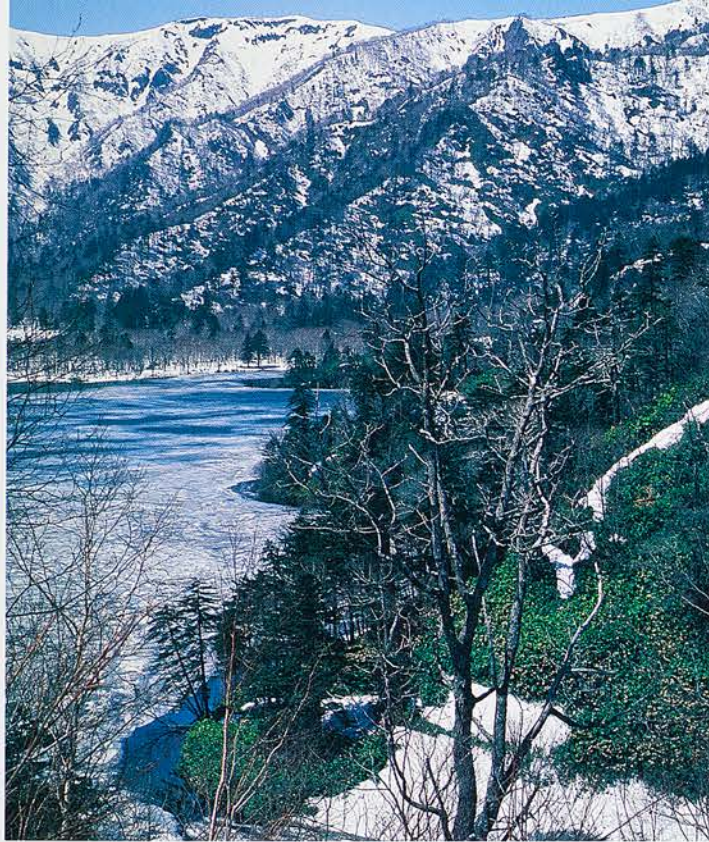
滝田さん作品 【望来】 秋の望来の風景。滝田さんはこれからパラグライダーで飛び立とうとしている人に、「太陽に向かって飛んで！」と声をかけて撮影するのだとか。



滝田さん作品 【仁別】 牧場の朝霧を狙った一枚。滝田さんが苦勞して見つけたとおきの撮影スポット。

滝田さん作品

【オコタンベ湖】 5月になり道路が再開された直後の湖の姿。



滝田康夫さんと歩く 爽快梅雨知らず 道央 石狩地方



滝田康夫さん(右)と、カメラのキタムラ札幌羊ヶ丘通り店/堀井店長(左)。

今回は札幌を中心に、大自然が広がる郊外の隠れた撮影名所を訪ねます。

「札幌」の語源は諸説ありますが、「乾いた大きな川」を意味するアイヌ語が元と言われ、ここを中心に北海道開拓の歴史が始まりました。

現在でも都市中心部と自然の距離が比較的近く、豊かな食文化があり、冬はスキー、春は花、夏は海が楽しめるという恵まれた環境です。

その札幌を知り尽くしている写真歴15年の滝田康夫さんが、特にとっておきのスポットを、爽やかな初夏の気候の下、案内してくださりました。

また冬季は札幌市内からの道が通行止めになるので、注意が必要です。

【仁別 (にべつ)】

地図上で仁別一帯の環境を想像するのはほぼ不可能ですが、実際には畑や牧場が視界いっぱいになり、まさに北海道といった趣。

この景色は普通なら美瑛、ニセコといった観光名所を想像しますが、なんとここはれっきとした札幌市内。ちょっと信じがたいですが、札幌市の中心までせいぜい車で30分の距離なのです。

広い牧場に点在する、放牧された牛と牧草ロール。取材時はちょうど牧草が刈り取られる時期だったようで、そこかしこに牧草ロールが置かれていました。

ここは滝田さんが美瑛やニセコのような風景にあこがれて、市内でも手軽に撮れる場所を探して見つけた撮影ポイントです。

【石狩湾・望来 (せいのわい・もちき)】

石狩灯台の少し北になりますが、望来より北の海沿いは絶壁が連なるような地形になっています。

海がエメラルド色に透き通り、岸壁の上に立つと、どことなく北歐的な風情を感じる日本離れ(?)した景色が広がります。海岸線は部分的に海水浴場になっています。海線は部分的に海水浴場になっています。景色を邪魔するものはありません。

ここでは色とりどりのパラグライダーが空に舞う姿を見ることが出来ます。取材に訪れた日は、風が強くパラグライダーは飛んでいませんでしたが、広くて青い空と、青い海、そしてカラフルなパラグライダーが揃えば、絶好の撮影ポイントなのは間違いありません。

また天気によければ、ここからは積丹半島まで見渡すことが可能で、その半島の先に落ちる夕日も見逃せません。



【仁別】 一帯には高い建物は一切なく、牧場と畑が続きます。



取材時の札幌は晴れていましたが、いざオコタンベ湖に着いてみると、山は霧に包まれ、車道脇の展望台からは湖畔は全く見えませんでした。



【オコタンベ湖】 取材当日は湖周辺一帯は霧に包まれていました。上の滝田さんの作品と同じ場所に立ってみたものの、湖畔は全く見えず、残念でした。写真は背後の恵庭岳にレンズを向けたところ。



【望来】 海岸線に連なる岸壁の上に立つと、雄大な景色に圧倒されてしまいます。海も澄んで海底が見えるほど。海外のリゾート地と言われても違和感がありません。



【天神山】 小高い広場からは札幌の中心地が一望できます。花見スポットとしても有名。



【石狩灯台】石狩灯台から、石狩川を渡った対岸から狙う夕日。川辺に揺れるすすきが光るような構図を意識したとのこと。奥に見える煙突のようなものが石狩灯台。



【天神山】初冬に天神山。最後に紅く染まったモミジの周りには色とりどりの落ち葉と真っ白な雪が。

【石狩灯台】

佐田啓二、高峰秀子主演の松竹映画「喜びも悲しみも幾年月」（昭和32年）の舞台にもなった灯台がこの石狩灯台です。明治25年の開設といいますが、100年以上の歴史があります。現在は日本海と石狩川に挟まれた河口付近に、豊かな海浜植物が自生するはまなすの丘公園があります。灯台はこの公園の入り口付近に位置しています。100年の間に石狩川が運んでくる土砂が堆積し、徐々に砂嘴（さし）が成長して現在の地形になったのです。公園の一部は石狩市海浜植物保護地区に指定されていて、春から秋にかけてさまざまな花が咲き乱れます。



滝田さんが店長を務める焼鳥店の店内では、お品書きと並んで滝田さんの作品が同席。

取材こぼれ話

すすきののど真ん中に焼鳥店を構えて40年になるという滝田さん。「こだわりの炭火を使った調理台はとても熱いんです」と笑いながら話をされていましたが、いまだに現役で調理場に立っているそうです。

「ウチはうまいから。うまいの喰わせるから今度ぜひ来てください。」と胸を張っていらっしゃる姿は、近年すすきの居酒屋が激減している状況の中で、生き残った自信に溢れていました。

その滝田さんはもともと日本画の収集が趣味でした。それを知った、お客のプロカメラマンから写真を勧められたのが15年ほど前。自分の性格から、始めれば凝るのがわかっていた滝田さんは当初は断っていたのですが、ペンタックスのマニュアル機を譲られ、とうとう写真を始めたのだとか。

はじめは道内の観光地を巡っての撮影がメインだった滝田さんも、「人と同じことをやっても面白くない」と元来の凝り性を発揮して活動範囲を広げ、今では強者がひしめく「カメラのキタムラ四季のフォトコンテスト」でも上位入賞する腕前に。

現在ではニコンF3とマミヤRB67を駆使する滝田さん。地元ならではの地の利を活かして、「札幌の風景」を大事にしたいのだとか。

いつの頃からか、店に飾った作品を「買いたい」と申し出られるお客さんが現れはじめ、写真を撮り始めた頃は懐疑的だった奥さんから、最近では「今日は撮影行かないの？なんて言われるようになって」と大笑いされていました。



UR賃貸住宅フォトコンテスト

東京・千葉・神奈川・埼玉・北海道・宮城・新潟・茨城にあるUR都市機構(旧都市公団)の対象住宅の「暮らし、風景、美しさ」をあなたの視点で写真に収め「応募ください」。対象物件はホームページをご覧ください。また東京・千葉・神奈川・埼玉のUR都市機構の各UR営業センターでも撮影対象団地リストを配布しております。

【テーマ】UR賃貸住宅のある風景 暮らし、風景、美しさ…

【応募資格】年齢・職業の制限はありません。

【応募期間】2006年9月16日(土)～10月22日(日)(当日消印有効)

【応募方法】作品は2005年11月以降に撮影したものに限り、サイズはキャビネサイズ以上六ツ切りサイズまで。なお、デジタル写真も前記サイズのプリントでお願いします。

ご応募の際には、所定の応募受付票(UR都市機構ホームページからダウンロードまたは各UR営業センター等窓口にて配布の応募チラシから切り取り)に必ず①住所②氏名③電話番号④作品タイトル⑤撮影団地名⑥撮影日時・場所を記入し写真裏面に貼付けの上お送りください。お申込は1回に限り、応募作品点数はお一人様5点までご応募いただけます。

※注・複数回に分けて申込された場合に、2回目以降の申込につきましては無効となります。ご注意ください。(組写真は不可とし、写真1枚を1点とします)また、郵送時の写真の傷みにはご注意ください。なお、他のコンテストで入選された作品のご応募は遠慮ください。

は、2回目以降の申込につきましては無効となります。ご注意ください。(組写真は不可とし、写真1枚を1点とします)また、郵送時の写真の傷みにはご注意ください。なお、他のコンテストで入選された作品のご応募は遠慮ください。

【発表】入賞者の方には事務局より直接ご連絡いたします。入賞作品及び一部応募作品は11月下旬よりUR都市機構主催の「UR賃貸住宅フォトコンテスト」写真展にて掲示いたします。また、当機構広告物でも露出展開いたします。入選作品はUR都市機構ホームページよりご覧いただけます(11月下旬予定)。

※審査の都合によりスケジュールは変更させていただきます(11月下旬予定)。

※応募上の注意事項はHPをご覧ください。

【賞】■グランプリ1名 30万円 ■特選5名 15万円 ■審査員特別賞5名 5万円 ■本部長賞2名 5万円 ■住まいを愛している賞4名 5万円 ■(財)住宅管理協会理事長賞2名 5万円 ■入選50名 1万円 ■佳作100名 記念品

【応募先】〒105-8799 東京都港区西新橋3-22-5 芝郵便局留

「UR賃貸住宅フォトコンテスト」係

【問合せ】電話 03-6826-3329 (事務局) 10時～18時(土日祝休み)

http://www.ur-net.go.jp/kanto/

PHOTO CONTEST GUIDE

特に6月下旬から7月上旬に開花するハマナスは絶好の被写体。

ただしハマナスの花は、ある花が咲いては枯れ、また別の花が咲いては枯れというサイクルで、一面に咲き乱れるイメージではないので、撮影時は構図の工夫が必要かもしれません。

【天神山】

市営地下鉄南北線南平岸駅もしくは澄川駅から歩いて15分程度の、標高1000mにも満たない小さな山ですが、斜面は緑地として保護されており、札幌中心部を見渡すことができます。春には桜と梅が咲き、花見スポットとしても有名です。

坂が多い場所ですが、散策道は舗装され、駐車場、椅子用トイレもあり整備が行き届いているため、気軽に出かけることができるでしょう。

また敷地内には日本庭園もあり、被写体には事欠きません。

その中でも滝田さんのお気に入りには、散策道入り口付近の一本のモミジ。

この木は背後の山に遮られ、日の射す時間が短いためか、葉が紅く色づく時期が比較的遅いといえます。

この木が紅く染まる頃には、他の木々から落ちた葉が堆積し、赤や黄色の色彩豊かな絨毯が広がるそうです。

四国・今治地方 第2回観光写真コンテスト

今治地方は、日本史の潮流の中に生きた強者たちが健在していました。しなみ海道の島々には、不思議な魅力があります。それは四季折々に変化する風景もさることながら、瀬戸の渦潮に孤立する島そのものが、伊予水軍の歴史と文化の基調をなして、日本史の潮流の中に生きていくからです。この今治市は、海からの開町をはじめとし、のどかなど懐かし

い里山からのエネルギーも得て発展しています。多種多様な景色、文化を持ち合わせた風景が心に残るはず。地域によつて特色を生かした伝統行事のお祭り、イベントが開催され、おもわずシャッターを切りたくなるチャンスが皆さまをお待ちしております。

【テーマ】四国・今治地方を題材にしたもの。

【応募資格】プロ・アマチュアを問わず誰でも応募していただけます。

【応募締切】2007年4月30日(月)〈当日消印有効〉

【応募方法】愛媛県今治市(上島町含む)を撮影したものに限り、サイズは四ツ切(254×305mm)または4PW(254×365mm)に限り、なお、デジタル写真も前記サイズのプリントでお願いします。ご応募の際には、作品の裏面に応募票を貼り、必要事項を記入して郵送してください。

【審査・発表】2007年5月12日(土)13:00(予定)に、今治地域地産産業

振興センター4F第1研修室において、竹内敏信先生による公開審査を行います。2007年5月下旬までには、直接入賞者本人に通知し、6月上旬の今治地方観光協会総会時に表彰いたします。また、ホームページにも掲載、上位数点に関しては、カメラ雑誌、新聞、市広報への掲載を予定しています。(電話でのお問い合わせは遠慮ください)

【賞】■最優秀賞1名 50万円 ■1名 20万円 ■2席1名 5万円 ■3席2名 3万円 ■入選30名 1万円 ■佳作30名 ※各賞には盾と副賞が付きます。

【応募先】〒794-0013 愛媛県今治市片原町1-2 今治港湾ビル3F「今治地方観光協会 観光写真コンテスト」係

【問合せ】TEL.0898-22-0909 FAX.0898-22-0929

http://www.oideya.gr.jp/

第1回 四国・今治地方 観光写真コンテスト 最優秀賞 「夜の海峽」福岡輝治(広島県福山市)



第1回 四国・今治地方 観光写真コンテスト 最優秀賞 「夜の海峽」福岡輝治(広島県福山市)

写真少年 になろう。

Canon
make it possible with canon

空とか 海とか 風とか
彼女とか クルマとか
そろそろ またどうだい
僕を誘っている
EOS 30D
その新しいデジタル一眼の
ファインダーのむこうに
新しい季節がやってくる
僕のなかの 写真少年が
ほら 笑っている



EOS 30D

自分を愉しむ。オールラウンド・デジタル一眼レフEOS 30D誕生。
[高解像度・約820万画素の大型CMOSセンサー] [大きく見やすい、広視野角2.5型液晶モニター]
[高精細で自然な色再現。映像エンジンDIGIC II] [思い描くイメージを再現するピクチャースタイル]
[一瞬のチャンスを捉える最高約5コマ/秒の高速連写] [軽く剛性の高いマグネシウム合金製の外装ボディ]
[被写体を正確に捕捉する、高速・広視野9点AF] [50本以上のキヤノンEFレンズで広がる表現領域]

EOS 30D・ボディ ○EOS 30D・EF-S18-55 IS II レンズキット
EOS 30D・EF-S17-85 IS II レンズキット (すべてオープン価格)
*オープン価格商品の価格は販売店にお問い合わせください。

ユーザー満足オンラインサポートサービス
CANON IMAGAGE GATEWAY
キヤノン イメージゲートウェイ
www.imagegateway.net

キヤノン EOS 30D スペシャルサイト
canon.jp/30d

キヤノンお客様相談センター
デジタルカメラ 050-555-90002
【受付時間】平日9:00~20:00 土日・祝日10:00~17:00 (11~3は休ませていただきます)
※海外からご利用の方、また14:00から15:00まではIP電話番号をご利用ください。受付時間外は予約なくお電話する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン(株)株式会社
キヤノン販売株式会社は、2006年4月1日、
キヤノンマーケティングジャパン(株)株式会社
に社名変更いたしました。

KITAMURA INFORMATION

フォトコンのお知らせ



秋の写真大募集!!

おうちプリントもOK!!
デジカメプリント大歓迎!!

どんどん撮って、
どんどん応募!

募集期間 2006年12月10日(日)まで

カメラのキタムラ店頭
または事務局必着。

四ツ切サイズ で応募ください

腕自慢部門

〈テーマ〉 ■秋の風景(紅葉、秋の植物、秋祭りなど)
NEW ■自由(風景、人物、記念写真、その他なんでもOK)

初めての方でも ハガキサイズ でお気軽に

腕だめし部門

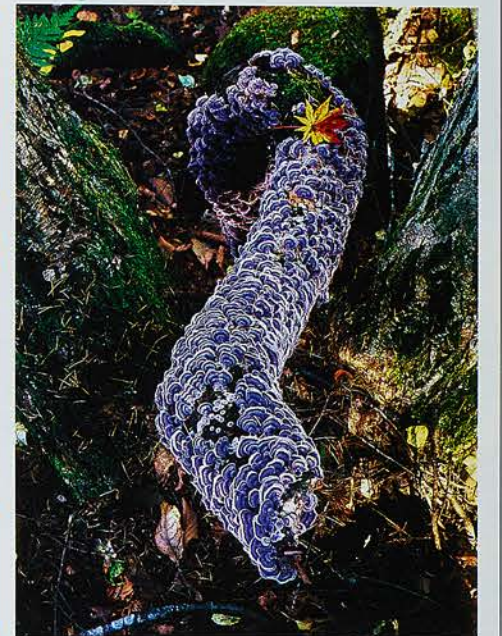
〈テーマ〉 ■いきもの(ペット、動物、昆虫、魚など)
■子ども&赤ちゃん(子ども&赤ちゃんの風景)
■自由(風景、人物、記念写真、その他なんでもOK)

賞金・賞品総額	腕自慢部門	腕だめし部門
500万円	グランプリ 賞金20万円+権 [各テーマから1名ずつ]	賞金10万円+権 [各テーマから1名ずつ]
	特選 賞金10万円+権 [各テーマから2名ずつ]	賞金5万円+権 [各テーマから2名ずつ]
	準特選 賞金5万円+権 [各テーマから5名ずつ]	賞金3万円+権 [各テーマから3名ずつ]
	入選 賞金1万円 [各テーマから20名ずつ]	賞金8千円 [各テーマから25名ずつ]
	佳作 記念品 [各テーマから30名ずつ]	記念品 [各テーマから70名ずつ]
	キタムラ・マリオ賞 記念品 [2テーマ合計100名]	記念品 [3テーマ合計100名]

主催:カメラのキタムラ 協賛:富士フイルム イメージング(株)

四季のフォトコンテスト2006
過去の上位入賞作品は、キタムラホームページ上でもご覧いただけます。
www.kitamura.co.jp/photocon365/

入賞作品は雑誌に掲載!
入賞作品は著名写真家が選評を加えてフォトコンテスト専門マガジン「フォトコンライフ」(双葉社刊)に掲載予定。



写真クラブ・催し物の紹介情報募集のお知らせ

皆さまの熱心な活動や自慢の作品をフォトライフ四季でご紹介いたします。

写真クラブや催し物の紹介情報、お待ちしております!

募集要項

写真クラブ

- クラブのご紹介文(300~350文字以内)
- クラブプロフィール(設立・会員数)
- 活動状況(例会・写真展・撮影旅行等)
- 掲載写真(会員集合写真×1・会員作品×3)

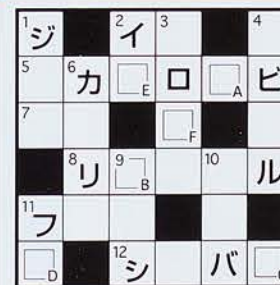
写真に関する催し物

- 撮影会
- 写真展
- その他

応募先

お近くのカメラのキタムラまで
お持ちください。

プレゼントが当たる! クロスワードパズル



答え=○○○○○○○
〈ヒント〉
誤解されがちですが、
実は秋の季語です。

クワ
ニ
キ
ニ
キ

- 土地の持ち主のこと。
- 愛媛の旧国名といえは?
- ダイエツはこれを低くすることが大切。
- 地酒のビール版です。
- サッカーのブラジル代表にも例えられる鳥の名。
- 習字に必要なのは、墨と筆と…。
- 松平健さんは、この踊りが大ヒットしましたね。
- 物事が十分に整っていない状態。

ニ
キ
ニ
キ

- "アタリメ"の原料は?
- 喜んだのも束の間…。
- 女性の色っぽい仕草を「○○を作る」などと表現します。
- 本番前の練習のこと。
- 心配を抱えた状態。
- 打楽器のひとつ。サルにも叩ける!?

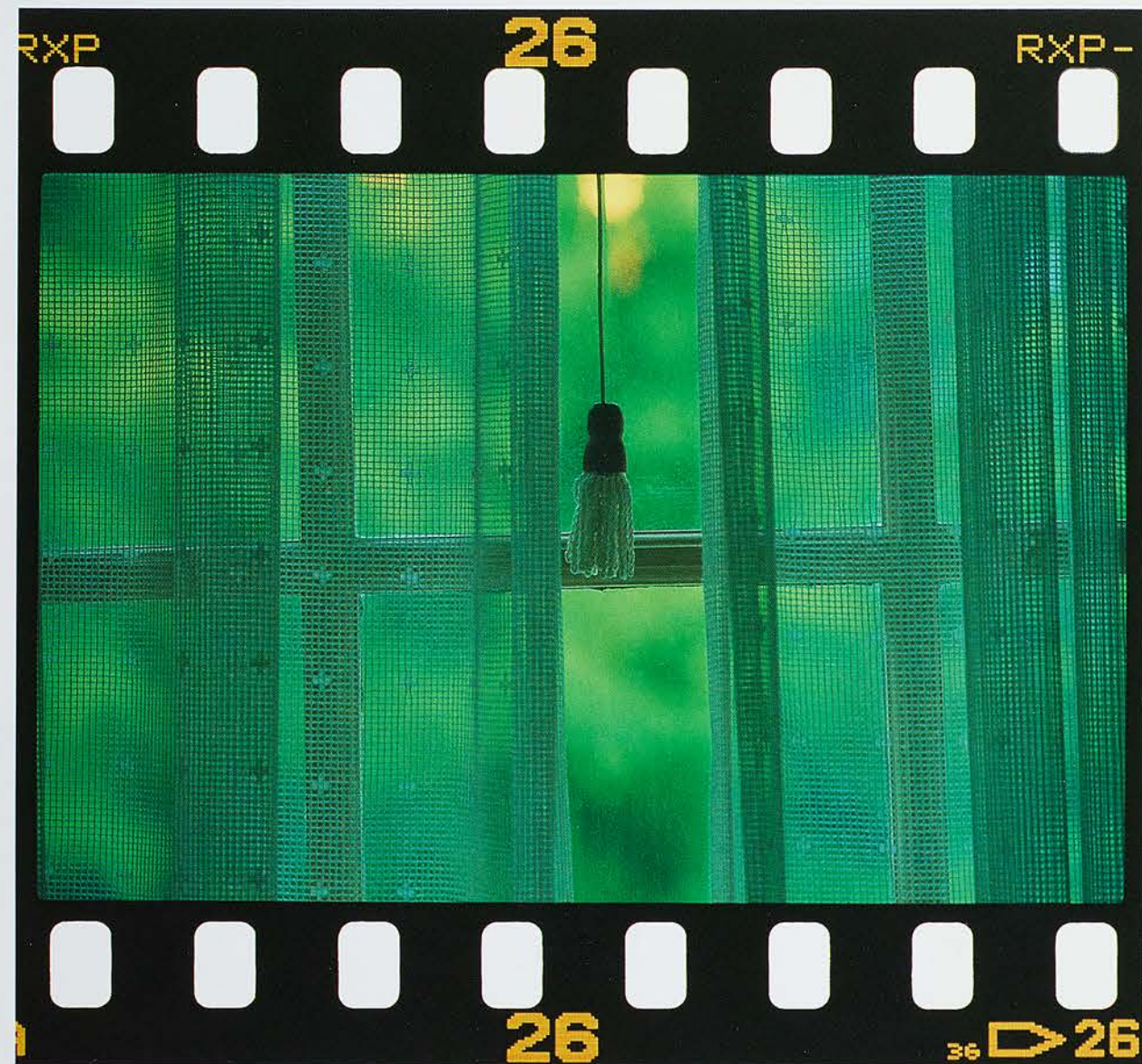
問題: クロスワードに答えて、A~Fのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業・本誌の感想をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。

あて先: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1カメラのキタムラ「フォトライフ四季 クロスワードパズル」係
締め切り: 11月30日(当日消印有効)

クロスワードパズル(Vol.56) 解答とご当選者 解答:「タケノコゴハン」

新堀 正(北海道)、村上秀之(宮城県)、曳地 正(福島県)、丹治重雄(福島県)、鈴木彦三(福島県)、浅海 清(埼玉県)、中川智子(埼玉県)、平井和子(東京都)、大江康照(東京都)、大津定吉(神奈川県)、秋葉 誠(神奈川県)、深谷安雄(神奈川県)、樋川文彦(山梨県)、中田陽江(石川県)、道津豊吉(滋賀県)、馬場はる子(滋賀県)、井上 豊(大阪府)、倉八枝実(大阪府)、本岡秀子(兵庫県)、足立勝男(兵庫県)、上田政雄(兵庫県)、西 満治(広島県)、岡田啓五(広島県)、権代 孝(山口県)、藤田智恵(徳島県)、早田順子(愛媛県)、水上繁美(福岡県)、島田 梢(福岡県)、亀川 剛(福岡県)、赤瀬都子(熊本県) 敬称略

次号、「四季」vol.59 冬号の発行は2006年12月1日を予定しております。



写真は「こころ」そのもの。
フィルムの美しさは、それを知っている。

たとえば、古い洋館の窓辺の風景が持つ、言葉では言い表せないほどの、深い味わいや風合い。その美しさは、人の心と直接つながり、暮らしの中に残り続けてきた。フィルムの描く美しさも、それと同じなのだと思う。なぜならフィルムは、人の五感に直接訴えかける美しさを持っているから。そして、写真は「こころ」そのものだから。これからもフィルムは、いくつもの心を美しく描き続けていこう。

徳光 由加利

Yukari Tokumitsu



135サイズ
新発売!

「奥深い、写真へ。」FUJICHROME

<http://fujifilm.jp/personal/> 富士写真フィルム株式会社 富士フィルムイメージング株式会社

●資料請求・お問合せは…〒105-8443 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー富士フィルムイメージング(株) プロフェッショナル事業部「RV係」 TEL.03-6203-6370

新しい情報、楽しいイベント満載! 写真をもっと楽しみたい、趣味の写真を深めたい、そんな方におすすめの富士フィルムweb情報。



FUJICHROME CLUB
フジクロムクラブ
イベント、特典が盛り沢山。リバーサルフォトを始めたい方にもピッタリの会員制写真クラブ。
<http://fccnet.jp/>



FUJI PHOTO SALON
富士フォトサロン
写真文化の発信基地として創設されたギャラリー「富士フォトサロン」の最新情報。
<http://fujifilm.jp/photosalon/>



FUJIFILM PHOTO CONTEST
富士フィルムフォトコンテスト
伝統あるフォトコンテスト。05年入賞作品の紹介と06年作品募集のお知らせ。
<http://fujifilm.jp/fpc/>



HAPPY PHOTO LIFE Photomore
フォトモア
暮らしのなかで気軽に写真を楽しみたい。新しい情報が満載のフォトコミュニティサロン。
<http://fujifilm.jp/photomore/>